

(様式第10)

徳大院総第96号  
平成

厚生労働大臣

殿

国立大学法人徳島大学  
学長 野地 澄 晴

徳島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、平成28年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒770-8501 徳島市新蔵町2丁目24番地
氏 名	国立大学法人徳島大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

徳島大学病院
--------

3 所在の場所

〒770-8503 徳島市蔵本町2丁目50番地の1	電話( 088 )631-3111
------------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
②医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1呼吸器内科		
2消化器内科		
③循環器内科		
4腎臓内科		
⑤神経内科		
6血液内科		
7内分泌内科		
8代謝内科		
9感染症内科		
10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		
11リウマチ科		
診療実績		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載す

ること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1呼吸器外科                      2消化器外科                      3乳腺外科                      4心臓外科 5血管外科                      (6)心臓血管外科                      7内分泌外科                      (8)小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

(1)精神科    (2)小児科    (3)整形外科    (4)脳神経外科    (5)皮膚科    (6)泌尿器科    (7)産婦人科 8産科    9婦人科    (10)眼科    (11)耳鼻咽喉科    (12)放射線科    13放射線診断科 14放射線治療科    (15)麻酔科    (16)救急科
---

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 (1)小児歯科    (2)矯正歯科    (3)口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 形成外科	2 病理診断科	3 リハビリテーション科	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
45床	8床	0床	0床	643床	696床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	254 人	208 人	418.7 人	看護補助者	40 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	79 人	63 人	125.4 人	理学療法士	11 人	臨床検査技師	53 人
薬剤師	51 人	0 人	51 人	作業療法士	6 人	衛生検査技師	0 人
保健師	0 人	0 人	0 人	視能訓練士	8 人	その他	0 人
助産師	39 人	0 人	39 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看護師	652 人	35 人	682.9 人	臨床工学士	18 人	医療社会事業従事者	13 人
准看護師	0 人	3 人	2.7 人	栄養士	0 人	その他の技術員	53 人
歯科衛生士	10 人	5 人	13.8 人	歯科技工士	6 人	事務職員	136 人
管理栄養士	9 人	9 人	12 人	診療放射線技師	40 人	その他の職員	0 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

## 7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	66 人	眼科専門医	10 人
外科専門医	40 人	耳鼻咽喉科専門医	10 人
精神科専門医	11 人	放射線科専門医	14 人
小児科専門医	16 人	脳神経外科専門医	18 人
皮膚科専門医	6 人	整形外科専門医	15 人
泌尿器科専門医	9 人	麻酔科専門医	14 人
産婦人科専門医	15 人	救急科専門医	8 人
		合 計	252 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

## 8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 永廣 信治 ) 任命年月日 平成28年4月1日

リスクマネジメント委員会委員長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	537人	18人	555人
1日当たり平均外来患者数	1,371人	446人	1,817人
1日当たり平均調剤数	入院 447.4剤	外来 183.9剤	
必要医師数			136人
必要歯科医師数			25人
必要薬剤師数			19人
必要(准)看護師数			339人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	
集中治療室	225.5 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	11床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 495 m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 0 台		病床数	28 床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 32 m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	72 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動開栓受付分注装置, 全自動生化学分析装置			
細菌検査室	260 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 細菌同定薬剤感受性測定装置, 抗酸菌培養装置, 細菌検査装置			
病理検査室	352 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動免疫染色装置, SL医用写真撮影装置			
病理解剖室	161 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台, スケール付ストレッチャー			
研究室	253 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) マルチスライスCT, 四肢用MRI, 回診用X線装置			
講義室	990 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数 28 室		収容定員 630 人	
図書室	75 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数 1 室		蔵書数 4000 冊程度	

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

	紹介率	82.6%	逆紹介率	59.3%
算出 根拠	A: 紹介患者の数			16,641人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			12,241人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			405人
	D: 初診の患者の数			20,629人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
三宅 秀則	徳島市民病院・ 病院長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有するため	有・ <del>無</del>	1
白川 剛	白川剛法律事務所・ 弁護士		法律に関する識見を有するため	有・ <del>無</del>	1
森田 敏子	徳島文理大学保健福祉学部・ 教授		医療安全管理についての知識を有し、医療等の内容及び説明並びに同意文書が一般的に理解できる内容であるか等、医療を受けるものの立場から意見を述べる事ができる者(学識経験を有する者)	有・ <del>無</del>	2
				有・無	
				有・無	
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<del>有</del> ・無
委員の選定理由の公表の有無	<del>有</del> ・無
公表の方法 徳島大学・徳島大学病院のホームページにて公表	



(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法	0人
アルテプラゼ静脈内投与による血栓溶解療法	1人
ベペルミノゲンペルプラスミドによる血管新生療法	1人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 【平成29年5月1日付削除】	0人
S-1内服投与、オキサリプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 【平成29年5月1日付削除】	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示  
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当ありません		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。



## 4 指定難病についての診療

患者数	患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
9	56	球脊髄性筋萎縮症	52	ベーチェット病	52
48	57	筋萎縮性側索硬化症	49	特発性拡張型心筋症	49
5	58	脊髄性筋萎縮症	19	肥大型心筋症	19
	59	原発性側索硬化症		拘束型心筋症	
17	60	進行性核上性麻痺	29	再生不良性貧血	29
201	61	パーキンソン病	3	自己免疫性溶血性貧血	3
15	62	大脳皮質基底核変性症		発作性夜間ヘモグロビン尿症	
	63	ハンチントン病	27	特発性血小板減少性紫斑病	27
	64	神経有棘赤血球症	1	血栓性血小板減少性紫斑病	1
2	65	シャルコー・マリニー・トウス病	4	原発性免疫不全症候群	4
100	66	重症筋無力症	16	IgA腎症	16
	67	先天性筋無力症候群	21	多発性嚢胞腎	21
81	68	多発性硬化症/視神経脊髄炎	27	黄色靱帯骨化症	27
65	69	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	139	後縦靱帯骨化症	139
4	70	封入体筋炎	16	広範脊柱管狭窄症	16
	71	クドウ・深瀬症候群	34	特発性大腿骨頭壊死症	34
49	72	多系統萎縮症	9	下垂体性ADH分泌異常症	9
75	73	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	1	下垂体性TSH分泌亢進症	1
4	74	ライソゾーム病	7	下垂体性PRL分泌亢進症	7
	75	副腎白質ジストロフィー	10	クッシング病	10
4	76	ミトコンドリア病	4	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	4
50	77	もやもや病	24	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	24
2	78	プリオン病	58	下垂体前葉機能低下症	58
	79	亜急性硬化性全脳炎		家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	
1	80	進行性多巣性白質脳症		甲状腺ホルモン不応症	
3	81	HTLV-1関連脊髄症	1	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
	82	特発性基底核石灰化症		先天性副腎低形成症	
11	83	全身性アミロイドーシス		アジソン病	
	84	ウルリッヒ病	108	サルコイドーシス	108
	85	遠位型ミオパチー	29	特発性間質性肺炎	29
	86	ペスレムミオパチー	16	肺動脈性肺高血圧症	16
	87	自己食空胞性ミオパチー		肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	
	88	シュワルツ・ヤンベル症候群	5	慢性血栓性肺高血圧症	5
27	89	神経線維腫症	1	リンパ脈管筋腫症	1
31	90	天疱瘡	14	網膜色素変性症	14
1	91	表皮水疱症	3	バッド・キアリ症候群	3
13	92	膿疱性乾癬(汎発型)	2	特発性門脈圧亢進症	2
1	93	スティーヴンス・ジョンソン症候群	34	原発性胆汁性肝硬変	34
	94	中毒性表皮壊死症	1	原発性硬化性胆管炎	1
20	95	高安動脈炎	3	自己免疫性肝炎	3
2	96	巨細胞性動脈炎	79	クローン病	79
9	97	結節性多発動脈炎	149	潰瘍性大腸炎	149
29	98	顕微鏡的多発血管炎		好酸球性消化管疾患	
17	99	多発血管炎性肉芽腫症	1	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
4	100	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症		巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	
9	101	悪性関節リウマチ		腸管神経節細胞減少症	
13	102	パージャール病		ルビンシュタイン・テイビ症候群	
1	103	原発性抗リン脂質抗体症候群		CFC症候群	
216	104	全身性エリテマトーデス		コステロ症候群	
99	105	皮膚筋炎/多発性筋炎		チャージ症候群	
80	106	全身性強皮症		クリオピリン関連周期熱症候群	
35	107	混合性結合組織病		全身型若年性特発性関節炎	
27	108	シェーグレン症候群		TNF受容体関連周期性症候群	
2	109	成人ステル病	1	非典型型溶血性尿毒症症候群	1
3	110	再発性多発軟骨炎		ブラウ症候群	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名			疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー		161	家族性良性慢性天疱瘡	
112	マリネスコ・シェーグレン症候群		162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	5
113	筋ジストロフィー	11	163	特発性後天性全身性無汗症	1
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群		164	眼皮白皮症	
115	遺伝性周期性四肢麻痺		165	肥厚性皮膚骨膜炎	
116	アトピー性脊髄炎		166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	
118	脊髄髄膜瘤		168	エーラス・ダンロス症候群	
119	アイザックス症候群		169	メンケス病	
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシピタル・ホーン症候群	
121	神経フェリチン症		171	ウィルソン病	
122	脳表ヘモジデリン沈着症		172	低ホスファターゼ症	
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症		173	VATER症候群	
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症		174	那須・ハコラ病	
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	2	175	ウィーバー症候群	
126	ペリー症候群		176	コフィン・ローリー症候群	
127	前頭側頭葉変性症	1	177	有馬症候群	
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎		178	モワット・ウィルソン症候群	
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症		179	ウィリアムズ症候群	
130	先天性無痛無汗症		180	ATR-X症候群	
131	アレキサンダー病		181	クルーゾン症候群	1
132	先天性核上性球麻痺		182	アベール症候群	
133	メビウス症候群		183	ファイファー症候群	
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群		184	アントレー・ピクスラー症候群	
135	アICALディ症候群		185	コフィン・シリス症候群	
136	片側巨脳症		186	ロスマンド・トムソン症候群	
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	
138	神経細胞移動異常症		188	多脾症候群	
139	先天性大脳白質形成不全症		189	無脾症候群	
140	ドラベ症候群		190	鰓耳腎症候群	
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん		191	ウェルナー症候群	1
142	ミオクロニー欠神てんかん		192	コケイン症候群	
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん		193	ブラダー・ウィリ症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群		194	ソス症候群	
145	ウエスト症候群		195	ヌーナン症候群	
146	大田原症候群		196	ヤング・シンブソン症候群	
147	早期ミオクロニー脳症		197	1p36欠失症候群	
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん		198	4p欠失症候群	
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群		199	5p欠失症候群	
150	環状20番染色体症候群		200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	
151	ラスムッセン脳炎		201	アンジェルマン症候群	
152	PCDH19関連症候群		202	スミス・マギニス症候群	
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎		203	22q11.2欠失症候群	
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症		204	エマヌエル症候群	
155	ランドウ・クレフナー症候群		205	脆弱X症候群関連疾患	
156	レット症候群		206	脆弱X症候群	
157	スタージ・ウェーバー症候群		207	総動脈幹遺残症	
158	結節性硬化症		208	修正大血管転位症	
159	色素性乾皮症		209	完全大血管転位症	
160	先天性魚鱗癬		210	単心室症	1

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	
212	三尖弁閉鎖症	260	シトステロール血症	
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	261	タンジール病	
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	262	原発性高カイロミクロン血症	
215	ファロー四徴症	1	263	脳腫黄色腫症
216	両大血管右室起始症	264	264	無βリポタンパク血症
217	エプスタイン病	265	265	脂肪萎縮症
218	アルポート症候群	266	266	家族性地中海熱
219	ギャロウェイ・モワト症候群	267	267	高IgD症候群
220	急速進行性糸球体腎炎	5	268	中條・西村症候群
221	抗糸球体基底膜腎炎	269	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群
222	一次性ネフローゼ症候群	16	270	慢性再発性多発性骨髄炎
223	一次性膿性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎
224	紫斑病性腎炎	2	272	1
225	先天性腎性尿崩症	273	273	進行性骨化性線維異形成症
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	肋骨異常を伴う先天性側弯症
227	オスラー病	275	275	骨形成不全症
228	閉塞性細気管支炎	276	276	タナトフォリック骨異形成症
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	277	277	軟骨無形成症
230	肺胞低換気症候群	278	278	リンパ管腫症/ゴーハム病
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	279	279	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)
232	カーニー複合	280	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)
233	ウォルフラム症候群	281	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	282	282	先天性赤血球形成異常性貧血
235	副甲状腺機能低下症	283	283	後天性赤芽球癆
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	2
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	285	285	ダイヤモンド・ブラックファン貧血
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	286	ファンコニ貧血
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	287	287	遺伝性鉄芽球性貧血
240	フェニルケトン尿症	288	288	エプスタイン症候群
241	高チロシン血症1型	289	289	自己免疫性出血病XIII
242	高チロシン血症2型	290	290	クロンカイト・カナダ症候群
243	高チロシン血症3型	291	291	非特異性多発性小腸潰瘍症
244	メーブルシロップ尿症	292	292	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)
245	プロピオン酸血症	293	293	総排泄腔外反症
246	メチルマロン酸血症	294	294	総排泄腔遺残
247	イソ吉草酸血症	295	295	先天性横隔膜ヘルニア
248	グルコーストランスポーター1欠損症	296	296	乳幼児肝巨大血管腫
249	グルタル酸血症1型	297	297	胆道閉鎖症
250	グルタル酸血症2型	298	298	アラジール症候群
251	尿素サイクル異常症	299	299	遺伝性膀胱炎
252	リジン尿性蛋白不耐症	300	300	嚢胞性線維症
253	先天性葉酸吸収不全	301	301	IgG4関連疾患
254	ポルフィリン症	302	302	3
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	303	303	黄斑ジストロフィー
256	筋型糖原病	304	304	レーベル遺伝性視神経症
257	肝型糖原病	305	305	アツンヤー症候群
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	306	306	若年発症型両側性感音難聴
				遅発性内リンパ水腫
				好酸球性副鼻腔炎

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
307	カナバン病		319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	
308	進行性白質脳症		320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	
309	進行性ミオクローヌスてんかん		321	非ケトーシス型高グリシン血症	
310	先天異常症候群		322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	
311	先天性三尖弁狭窄症		323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	
312	先天性僧帽弁狭窄症		324	メチルグルタコン酸尿症	
313	先天性肺静脈狭窄症		325	遺伝性自己炎症疾患	
314	左肺動脈右肺動脈起始症		326	大理石骨病	
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症		327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	
316	カルニチン回路異常症		328	前眼部形成異常	
317	三頭酵素欠損症		329	無虹彩症	
318	シトリン欠損症		330	先天性気管狭窄症	

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・データ提出加算
・歯科外来診療環境体制加算	・退院支援加算
・歯科診療特別対応連携加算	・精神疾患診療体制加算
・特定機能病院入院基本料	・地域歯科診療支援病院入院加算
・超急性期脳卒中加算	・特定集中治療室管理料2
・診療録管理体制加算2	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・医師事務作業補助体制加算1	・総合周産期特定集中治療室管理料
・急性期看護補助体制加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・看護職員夜間配置加算	・一類感染症患者入院医療管理料
・看護補助加算	・小児入院医療管理料2
・療養環境加算	・短期滞在手術等基本料1
・重症者等療養環境特別加算	・短期滞在手術等基本料2
・無菌治療室管理加算1	・入院時食事療養(I)・入院時生活療養(I)
・無菌治療室管理加算2	
・緩和ケア診療加算	
・精神科身体合併症管理加算	
・摂食障害入院医療管理加算	
・栄養サポートチーム加算	
・医療安全対策加算1	
・感染防止対策加算1	
・患者サポート体制充実加算	
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	
・ハイリスク分娩管理加算	
・総合評価加算	
・病棟薬剤業務実施加算1	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・遺伝カウンセリング加算
・糖尿病合併症管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん性疼痛緩和指導管理料	・胎児心エコー法
・がん患者指導管理料1	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・がん患者指導管理料2	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料3	・長期継続頭蓋内脳波検査
・外来緩和ケア管理料	・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・神経学的検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・補聴器適合検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・ロービジョン検査判断料
・外来放射線照射診療料	・小児食物アレルギー負荷検査
・ニコチン依存症管理料	・内服・点滴誘発試験
・がん治療連携計画策定料	・CT透視下気管支鏡検査加算
・肝炎インターフェロン治療計画料	・有床義歯咀嚼機能検査
・薬剤管理指導料	・画像診断管理加算1
・医療機器安全管理料1	・歯科画像診断管理加算1
・医療機器安全管理料2	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・医療機器安全管理料(歯科)	・CT撮影及びMRI撮影
・歯科治療総合医療管理料(Ⅰ)及び(Ⅱ)	・冠動脈CT撮影加算
・在宅患者歯科治療総合医療管理料(Ⅰ)及び(Ⅱ)	・心臓MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・遺伝学的検査	・外来化学療法加算1
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・無菌製剤処理料
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・国際標準検査管理加算	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・網膜再建術
・がん患者リハビリテーション料	・人工内耳埋込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・精神科作業療法	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・認知療法・認知行動療法1	・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・医療保護入院等診療料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・硬膜外自家血注入	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・透析液水質確保加算1	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・手術用顕微鏡加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術
・CAD/CAM冠	・両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術
・手術時歯根面レーザー応用加算	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・歯科技工加算1及び2	・補助人工心臓
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・腹腔鏡下肝切除術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・生体部分肝移植術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・腎腸瘍凝固・燃灼術(冷凍凝固によるもの)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・同種死体腎移植術	・画像誘導密封小線源治療加算
・生体腎移植術	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・膀胱水圧拡張術	・病理診断管理加算2
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・口腔病理診断管理加算2
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・歯科矯正診断料
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	
・輸血管管理料 I	
・輸血適正使用加算	
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・歯根端切除手術の注3	
・麻酔管理料(I)	
・麻酔管理料(II)	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・画像誘導放射線治療(IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	





## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補 委	元
動脈壁と血管周囲脂肪組織に生じる無菌的慢性炎症の病態解明と新規制御法の開発	佐田 政隆	循環器内科学	¥7,100,000	補 委	日本学術振興会
下肢陽圧負荷心エコー図法による大動脈弁狭窄症の予後予測	楠瀬 賢也	循環器内科	¥900,000	補 委	日本学術振興会
活性型第X凝固因子によるマクロファージ活性化を介した新しい動脈硬化進展機序の解明	原 知也	循環器内科	¥900,000	補 委	日本学術振興会
自己由来遊離核酸断片の認識を介した動脈硬化発症機序の解明	福田 大受	循環器内科学	¥1,500,000	補 委	日本学術振興会
C型ナトリウム利尿ペプチドの多面的作用を活かした難治性心疾患治療法の開発	植松 悦子	循環器内科学	¥1,000,000	補 委	日本学術振興会
肺がん微小環境の新たな標的:線維細胞を基軸とした薬剤耐性克服と革新的治療への展開	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科学	¥4,800,000	補 委	日本学術振興会
肝転移を標的とした小細胞肺癌に対する新規分子標的治療の開発	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科学	¥800,000	補 委	日本学術振興会
①線維細胞 (fibrocyte) の機能解析から新規抗線維化療法の検討②ビルフェニドンの標的分子探索とバイオマーカーの同定③間質性肺炎合併肺癌に対する	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科学	¥325,000	補 委	厚労省
がん細胞が生成する尿中蛋白質断片の検出を応用した肺腺癌早期診断システム樹立に関する研究	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科学	¥1,000,000	補 委	厚労省
びまん性肺疾患に関する調査研究	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科学	¥300,000	補 委	厚生労働省
Sphere形成癌幹細胞様分画の肺癌多臓器転移における機能の検討	荻野 広和	呼吸器・膠原病内科	¥1,100,000	補 委	日本学術振興会
線維細胞の遊走を標的とした新たな膠原病肺治療法の開発	河野 弘	呼吸器・膠原病内科学	¥1,400,000	補 委	日本学術振興会
肺癌・中皮腫の微小環境に着目したベバシズマブの耐性関連バイオマーカーの探索	後東 久嗣	呼吸器・膠原病内科学	¥1,100,000	補 委	日本学術振興会
大腸がん超高危険度群におけるがんリスク低減手法の最適化に関する研究	高山 哲治	消化器内科学	¥1,000,000	補 委	厚労省
ACFを標的とした新しい高感度分子イメージング法の開発	高山 哲治	消化器内科学	¥3,300,000	補 委	日本学術振興会
鋸歯状病変を介した大腸発癌経路における新規脱メチル化遺伝子の同定と機能解析	藤野 泰輝	消化器内科	¥900,000	補 委	日本学術振興会

膵癌における肝転移の分子機序の解明と新規血清バイオマーカーの確立	宮本 弘志	消化器内科	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
オートファジー選択的基質p62を標的とした新しい大腸癌治療法の開発	岡本 耕一	消化器内科	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
ソラフェニブ耐性株の樹立とその機序の解析	友成 哲	消化器内科	¥900,000	補委	日本学術振興会
膵癌と周囲脂肪組織のメタボロームを介した相互作用の解明	木村 哲夫	消化器内科学	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
大腸がんリンパ節転移の分子機構の解明及びリンパ節転移術前予測マーカーの開発	武石 俊作	消化器内科学	¥1,700,000	補委	日本学術振興会
大腸カルチノイドの転移因子の探索	北村 晋志	消化器内科学	¥2,100,000	補委	日本学術振興会
ヒストン脱メチル化酵素JMJD2Aは切除不能胃癌の新しい治療効果予測因子である	中川 忠彦	消化器内科学	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
糖尿病性糸球体硬化のChip-Seq解析と核内受容体を標的とした効率的治療	田蔭 昌憲	腎臓内科	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
糖尿病性腎症の進展予防に向けた病期分類-病理-バイオマーカーを統合した診断法の開発	安部 秀斉	腎臓内科学	¥1,000,000	補委	厚労省
新規抗酸化分子ApolipoproteinL1の腎保護作用機序の解明	村上 太一	腎臓内科学	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
糖尿病性腎症および腎硬化症の血管合併症分子病態解明とその修復法の開発	安部 秀斉	腎臓内科学	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
新規ペプチドホルモンINSL6の心臓リモデリングにおける意義	吉田 守美子	血液・内分泌代謝内科学	¥1,700,000	補委	日本学術振興会
がん抑制性ニッチの実態とその誘導による新規治療法の開発	中村 信元	血液・内分泌代謝内科学	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
骨髄腫骨髄微小環境がもたらす骨髄腫増殖制御機構の解明と新規治療法の開発	安倍 正博	血液・内分泌代謝内科学	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
希少難治性脳・脊髄疾患の歩行障害に対する生体電位駆動型下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)を用いた新たな治療実用化のための多施設共同医師主導治験	梶 龍兒	臨床神経科学	¥3,900,000	補委	厚労省
免疫性ニューロパシーの治療反応性予測に基づく有効な治療戦略の構築	梶 龍兒	臨床神経科学	¥455,000	補委	厚労省
遺伝性ジストニア・ハンチントン病の診療ガイドラインに関するエビデンス構築のための臨床研究	梶 龍兒	臨床神経科学	¥11,960,000	補委	厚生労働省
筋萎縮性側索硬化症(ALS)新規治療法開発を目指した病態解明	梶 龍兒	臨床神経科学	¥1,300,000	補委	厚労省

神経変性疾患領域における基盤的調査研究	梶 龍児	臨床神経科学	¥450,000	補 委	厚生労働省
エビデンスに基づいた神経免疫疾患の早期診断基準・重症度分類・治療アルゴリズムの確立	梶 龍児	臨床神経科学	¥250,000	補 委	厚生労働省
孤発性ALS患者大規模前向きコホートの臨床バイオリソース・ゲノム遺伝子・不死化細胞を用いた病態解明、治療法開発研究	梶 龍児	臨床神経科学	¥1,200,000	補 委	厚労省
筋萎縮性側索硬化症患者の疾患登録システムの研究開発	梶 龍児	臨床神経科学	¥500,000	補 委	厚労省
ギラン・バレー症候群に対するエクリズマブの安全性と有効性を評価する前向き・多施設共同・第II相試験	野寺 裕之	臨床神経科学	¥780,000	補 委	厚労省
神経構造・機能画像を統合した筋萎縮性側索硬化症の新規バイオマーカーの開発	佐光 亘	臨床神経科学	¥900,000	補 委	日本学術振興会
遺伝性ジストニア・ハンチントン病の診療ガイドラインに関するエビデンス構築のための臨床研究	後藤 恵	臨床神経科学	¥700,000	補 委	厚生労働省
遺伝性ジストニア・ハンチントン病の診療ガイドラインに関するエビデンス構築のための臨床研究	瓦井 俊孝	臨床神経科学	¥700,000	補 委	厚生労働省
新規運動ニューロン病遺伝子TFG解析と治療法開発	瓦井 俊孝	臨床神経科学	¥1,100,000	補 委	日本学術振興会
遺伝学的アプローチによるジストニアの革新的治療法開発	宮本 亮介	神経内科	¥9,880,000	補 委	厚労省
心臓脂肪・異所性脂肪・サルコペニアの病的意義の解明と新しい診療コンセプトの構築	島袋 充生	心臓血管病態医学	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会
動脈グラフト移植後石灰化発生メカニズムに関する研究	黒部 裕嗣	心臓血管外科学	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会
未固定遺体を用いて乳癌術後リンパ浮腫の原理及びセンチネルリンパ節の機能を解明する	中川 美砂子	食道・乳腺甲状腺外科	¥1,700,000	補 委	日本学術振興会
肺癌の浸潤に伴う自家蛍光変化のメカニズム解明と術式選択への応用	滝沢 宏光	胸部・内分泌・腫瘍外科学	¥1,800,000	補 委	日本学術振興会
iPS細胞から誘導した気管支肺胞幹細胞は障害肺の修復を加速させる	鳥羽 博明	胸部・内分泌・腫瘍外科学	¥1,100,000	補 委	日本学術振興会
標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	金山 博臣	泌尿器科学	¥273,000	補 委	厚労省
去勢抵抗性前立腺癌の進展に対するグレクチン-3の腫瘍制御機構の解明と臨床応用	福森 知治	泌尿器科	¥1,500,000	補 委	日本学術振興会
肝星細胞による加齢肝の肝再生能不全プロセスの解明と治療法の開発	島田 光生	消化器・移植外科学	¥3,400,000	補 委	日本学術振興会

小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患の移行期を包含し診療の質の向上に関する研究	島田 光生	消化器・移植外科学	¥200,000	補委	厚生労働省
多施設共同研究による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化	島田 光生	消化器・移植外科学	¥500,000	補委	厚労省
メタボローム解析による肝発癌関連因子の検討	島田 光生	消化器・移植外科学	¥1,000,000	補委	厚労省
外科手術症例登録データ並びに医療費データの連携に基づく地域医療体制の評価と改善に関する研究	島田 光生	消化器・移植外科学	¥345,000	補委	厚労省
ラジオ波焼灼療法後に局所再発をきたす肝細胞癌の悪性度獲得のメカニズムに関する研究	山田 眞一郎	消化器・移植外科学	¥1,800,000	補委	日本学術振興会
FXRを介した腸管免疫機構に着目したDJBの有用性に関する研究	柏原 秀也	消化器・移植外科	¥1,800,000	補委	日本学術振興会
内胚葉発生プロセスからみた原発性肝癌における上皮間葉転換メカニズムの解明	石川 大地	消化器・移植外科	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
胆管構造を有する機能的肝組織再構築に関する研究	森根 裕二	消化器・移植外科学	¥1,700,000	補委	日本学術振興会
ADSCを用いた3次元培養による効果的膵島様細胞作成に関する研究	池本 哲也	消化器・移植外科学	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
肝移植免疫における肝星細胞の小胞体ストレス応答を介した免疫制御に関する研究	荒川 悠佑	消化器・移植外科学	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
GLUT1・胆汁酸吸収に着目したDJBの有用性に関する研究	西 正暁	消化器・移植外科学	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
糖尿病網膜症の病因におけるPPAR $\gamma$ を介したサイクリン依存性キナーゼ5の役割	三田村 佳典	眼科学	¥1,800,000	補委	日本学術振興会
増殖糖尿病網膜症における転写因子PPAR $\gamma$ の関与と治療への応用	香留 崇	眼科	¥900,000	補委	日本学術振興会
難治性めまい疾患に関する調査研究	武田 憲昭	耳鼻咽喉科学	¥1,820,000	補委	厚生労働省
難治性めまい疾患の診療の質を高める研究	武田 憲昭	耳鼻咽喉科学	¥7,852,001	補委	厚労省
前庭代償の新しい評価法を用いた前庭代償の促進薬の開発:動物モデルを用いた研究	武田 憲昭	耳鼻咽喉科学	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
姿勢制御に対する視覚依存から体性感覚依存へ重み付けを再調整する平衡訓練法の開発	佐藤 豪	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	¥2,400,000	補委	日本学術振興会
狭帯域紫外線によるヒスタミンH1受容体遺伝子発現亢進の抑制機構の解明	北村 嘉章	耳鼻咽喉科学	¥1,400,000	補委	日本学術振興会

腰部脊柱管狭窄症における黄色靭帯肥厚メカニズムの解明	西良 浩一	運動機能外科学	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
股関節安定性に対する大腿骨頭靭帯の機能解析	後東 知宏	整形外科	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
小胞体ストレス応答因子ATF6の骨代謝制御の解明	森本 雅俊	整形外科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
MR拡散テンソル画像を用いた障害神経の新たな評価ツールの開発	宮城 亮	整形外科	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
血行動態に着目した肘離断性骨軟骨炎の病態解明と新治療法の開発	松浦 哲也	運動機能外科学	¥700,000	補委	日本学術振興会
腰椎分離症の先天的(遺伝的)要因の解明	酒井 紀典	脊椎関節機能再建外科学	¥700,000	補委	日本学術振興会
表皮細胞のリプログラミングと腫瘍化プロセス	久保 宜明	皮膚科学	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
SP細胞を標的とした皮膚癌幹細胞同定と解析:癌根治への新戦略	村尾 和俊	皮膚科学	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
虚血性皮弁壊死に対する新薬開発-強力な抗酸化作用を介して壊死進行を抑制する-	福永 豊	形成外科・美容外科	¥1,800,000	補委	日本学術振興会
遊離脂肪組織移植におけるHGF遺伝子プラスミドを用いた遺伝子治療の基礎研究	峯田 一秀	形成外科・美容外科	¥500,000	補委	日本学術振興会
HGFの血管新生効果の研究-微小循環を可視化したチャンパー法を用いて確かめる	安倍 吉郎	形成外科学	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
脳動脈瘤破裂の病態解析と早期診断・薬物治療へのアプローチ	永廣 信治	脳神経外科学	¥4,000,000	補委	日本学術振興会
脳卒中研究者新ネットワークを活用した脳・心血管疾患における抗血栓療法の実態と安全性の解明	永廣 信治	脳神経外科	¥250,000	補委	厚労省
脳卒中・循環器病の遠隔医療の開発と検証のための研究	永廣 信治	脳神経外科	¥910,000	補委	厚労省
発症時刻不明の脳梗塞患者に対する静注血栓溶解療法の適応拡大を目指した臨床研究	永廣 信治	脳神経外科	¥400,000	補委	厚労省
脳動脈瘤形成・破裂に対する選択的エストロゲン受容体作動薬の役割	多田 恵曜	脳神経外科	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
難治性運動異常症の診断と治療前後におけるFDG-PET画像解析の有用性	牟礼 英生	脳神経外科	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
NF $\kappa$ Bを分子標的としたL-ドーパ誘発性ジスキネジアの治療法開発	森垣 龍馬	脳神経外科学	¥900,000	補委	日本学術振興会

脳動脈瘤と歯周病に関する臨床および基礎的研究	里見 淳一郎	脳神経外科学	¥1,800,000	補委	日本学術振興会
脳梗塞発症後のマクロファージ活性化とその制御による脳保護作用	八木 謙次	脳神経外学	¥1,800,000	補委	日本学術振興会
線条体ストリオンゾームを標的としたL-ドーパ誘発性ジスキネジアの新たな治療法の開発(国際共同研究強化)	森垣 龍馬	脳神経外科学	¥11,200,000	補委	日本学術振興会
高血糖による吸入麻酔薬の心保護効果減弱とグルコース輸送体の関連	田中 克哉	麻酔・疼痛治療医学	¥1,800,000	補委	日本学術振興会
吸入麻酔薬のポストコンディショニング効果におけるGLP-1受容体の役割	浜口 英佑	麻酔科	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
周術期患者に対するホエーペプチドの有用性	久米 克佳	麻酔科	¥2,000,000	補委	日本学術振興会
高血糖が吸入麻酔薬およびGLP-1受容体の心筋保護相互作用に及ぼす影響	酒井 陽子	麻酔科	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
吸入麻酔薬とGLP-1の心筋保護相互作用とオートファジーの役割	笠井 飛鳥	麻酔科	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
細胞膜マイクロドメインを介する心筋保護作用に高血糖が及ぼす影響	堤 保夫	麻酔・疼痛治療医学	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
脳内アミノ酸系に及ぼす向精神薬の影響ー高磁場MRSの精神薬理学的応用ー	大森 哲郎	精神医学	¥700,000	補委	日本学術振興会
強迫性障害の薬物反応と5-HTTLPR遺伝子多型・5-HTT遺伝子メチル化の関連	梅原 英裕	精神科神経科	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
うつ病における幼少期の環境ストレス・自殺・病期と末梢血メチル化の関連研究	沼田 周助	精神科神経科	¥1,700,000	補委	日本学術振興会
One-carbon metabolismに着目した統合失調症病態解析研究	木下 誠	精神科神経科	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
末梢白血球中の遺伝子発現を用いた精神疾患の診断マーカーの開発	渡部 真也	精神医学	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
半月体形成性腎炎における(プロ)レニン受容体を介した病態機序の解明と新規治療法	漆原 真樹	小児科	¥600,000	補委	日本学術振興会
経口免疫療法が抗原特異的免疫グロブリンのクラススイッチと質変化に与える影響と予後	杉本 真弓	小児科	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
糸球体RASのペプチドミクス/プロテオミクス解析と小児慢性腎臓病の診断治療法開発	香美 祥二	小児科学	¥900,000	補委	日本学術振興会
血液凝固異常症等に関する研究	香美 祥二	小児科学	¥750,000	補委	厚生労働省

肺高血圧症における血管外膜およびvasa vasorumの役割解明と治療応用	早瀬 康信	小児科学	¥2,100,000	補 委	日本学術 振興会
生殖補助医療の技術の標準化と出生児の安全性に関する研究	苛原 稔	産婦人科学	¥20,000,000	補 委	厚労省
①卵子老化対策に関する生殖医療技術の臨床応用に関する諸規則整備に関する研究 ②卵子・卵巣組織の凍結保存に関する諸	苛原 稔	産婦人科学	¥2,350,000	補 委	厚労省
がん・生殖登録システムの検討	苛原 稔	産婦人科学	¥1,000,000	補 委	厚労省
不妊・不育に悩む夫婦等の実態に関する調査・研究	苛原 稔	産婦人科学	¥2,262,000	補 委	徳島県
周産期医療に対する調査・研究	苛原 稔	産婦人科学	¥6,000,000	補 委	徳島県
多嚢胞性卵巣症候群の診断基準におけるAMHとインスリン抵抗性の意義に関する研究	苛原 稔	産科婦人科学	¥1,100,000	補 委	日本学術 振興会
視床下部機能低下時の新規中枢神経ペプチドアナログによる新しい排卵誘発法の基礎検討	松崎 利也	産科婦人科学	¥1,100,000	補 委	日本学術 振興会
臨床検体・臨床情報の集積とデータ解析	松崎 利也	産婦人科学	¥1,040,000	補 委	厚労省
卵巣機能の低下が中枢・末梢のストレス反応に及ぼす影響とその機序の検討	岩佐 武	産科婦人科学	¥700,000	補 委	日本学術 振興会
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	原田 雅史	放射線科学	¥900,000	補 委	厚生労働 省
レドックス制御と神経伝達バランスに関するMRIを用いたバイオマーカーの開発	原田 雅史	放射線医学	¥1,700,000	補 委	日本学術 振興会
磁化率強調像とMRSによる出血・壊死イメージング:子宮肉腫の早期診断法の開発	竹内 麻由美	放射線科	¥1,000,000	補 委	日本学術 振興会
新規遺伝子改変法によるメサンギウムの糸球体形成と糖尿病性腎症への系譜的役割の解明	長井 幸二郎	検査部	¥1,800,000	補 委	日本学術 振興会
DNA損傷応答制御による慢性腎臓病の治療法開発	岸 誠司	検査部	¥2,100,000	補 委	日本学術 振興会
超音波検査を用いた心房細動患者における心不全を含めた心血管イベント予測因子の検討	鳥居 裕太	検査部	¥500,000	補 委	日本学術 振興会
次世代型人工臓器でAKI予防に挑戦—酸化ストレスからのアプローチ—	箕田 直治	手術部	¥1,300,000	補 委	日本学術 振興会
重症患者における血中オレキシン活性がICU譫妄発症の病態機序に与える影響	大藤 純	ER・災害医療 診療部	¥1,300,000	補 委	日本学術 振興会



Th1様γδT細胞の効果的な増幅法と抗骨髄腫活性の増強法の開発	三木 浩和	輸血・細胞治療部	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築のための研究	島井 健一郎	病院情報センター	¥400,000	補委	厚労省
外因性リガンドとしての脂肪酸結合蛋白FABP4の前立腺癌増殖における意義	上原 久典	病理部	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
新規葉酸代謝拮抗薬における皮疹出現のリスク因子の解明と予防対策の検討	櫻田 巧	薬剤部	¥560,000	補委	日本学術振興会
臨床検査値を指標とする副作用モニタリング管理ツールの開発	石田 俊介	薬剤部	¥560,000	補委	日本学術振興会
腎虚血再灌流傷害における活性酸素種産生を介した急性尿細管壊死形成機構の解明	今西 正樹	薬剤部	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
心肺停止病態に対する低酸素選択的ナノDDS製剤を用いた脳神経障害根治薬の開発	座間味 義人	臨床薬剤学	¥600,000	補委	日本学術振興会
血管内皮障害を基盤とする新規大動脈解離モデルの開発と分子病態の解明	石澤 啓介	臨床薬剤学	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
間葉系幹細胞を用いた転写因子制御による肝虚血再灌流障害の新たな治療法の開発	高須 千絵	周産母子センター	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
腫瘍免疫におけるTSP-1によるPD-1, PDL-1への作用機序の解明→転出	中尾 寿宏	周産母子センター	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
網膜神経節細胞の保護と軸索再生研究	仙波 賢太郎	周産母子センター	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
食事パターンスコアによるメタボリック症候群の革新的生活習慣改善法の開発	船木 真理	糖尿病対策センター	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
AIMと糖代謝異常およびメタボリックシンドロームに関する疫学研究	秦 明子	糖尿病対策センター	¥600,000	補委	日本学術振興会
シェーグレン症候群の病態に対する食事由来の脂質の影響:新規治療法の確立にむけて	四釜 洋介	糖尿病対策センター	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
日本人卵巣癌患者のHBOC関連遺伝子変異解析に基づくリスク情報提供プログラム開発	阿部 彰子	地域産婦人科診療部	¥1,800,000	補委	日本学術振興会
肺organoidを用いた肺細胞・組織移植による肺再生の試み	川上 行奎	地域外科診療部	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
ワクチンによって予防可能な疾患のサーベイランス強化と新規ワクチンの創出等に関する研究	東 桃代	感染制御部	¥2,200,000	補委	厚労省
未固定遺体を用いた有限要素モデルの作成および妥当性の検討	東野 恒作	臨床解剖学・教育・研究センター	¥600,000	補委	日本学術振興会

骨髄由来線維細胞 (fibrocyte) の肺癌進展における役割の検討	西條 敦郎	地域総合医療学	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
食道幹細胞を用いた食道の再生	西野 豪志	卒後臨床研修センター	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
iPlaqueを用いた頸動脈プラークの性状評価による動脈硬化疾患の予後予測	山田 博胤	キャリア形成支援センター	¥900,000	補委	日本学術振興会
消化器がん患者における主観的包括的栄養評価法の有用性	濱田 康弘	疾患治療栄養学	¥2,000,000	補委	日本学術振興会
ジストニアの機能病理に関する実験的研究	後藤 恵	難治性神経疾患病態研究	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
高磁場MRSとNIRSを中間表現型とした強迫性障害の薬物応答遺伝子の研究	住谷 さつき	特別修学支援分野	¥800,000	補委	日本学術振興会
再生医療における血管新生に及ぼす血管プレコンディショニング効果の検討	川人 伸次	地域医療人材育成	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
歯髄炎の病態形成における象牙芽細胞の細菌由来因子に対する自然免疫機構の解明	武川 大輔	第一保存科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
エピジェネティクス・転写後発現調節機構の解析による新規歯髄温存・石灰化療法の開発	湯本 浩通	第一保存科	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
抗菌性フッ化ジアミンシリケート溶液の根面齲蝕予防剤への臨床応用	菅 俊行	第一保存科	¥1,600,000	補委	日本学術振興会
高周波/電磁波治療の深在性齲蝕治療への応用—訪問・在宅治療を目指して—	松尾 敬志	歯科保存学	¥900,000	補委	日本学術振興会
歯周炎病変局所における炎症性骨吸収に関与する白血球浸潤機構の解析	細川 義隆	歯科保存学	¥1,400,000	補委	日本学術振興会
漢方薬を歯周病治療に応用するための基礎的研究	進藤 智	歯科保存学	¥900,000	補委	日本学術振興会
歯髄炎における炎症・抗炎症バランス制御機構の解析とTh17細胞の役割	中西 正	歯科保存学	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
自然免疫を介した象牙芽細胞石灰化メカニズムの解明	平尾 功治	歯科保存学	¥900,000	補委	日本学術振興会
歯周病におけるメラトニンの役割解明および治療への応用	細川 育子	歯科保存学	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
糖尿病関連歯周炎のIL-6動態に着目したマクロファージ・線維芽細胞クロストーク	成石 浩司	第二保存科	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
最終糖化産物とリポ多糖による骨細胞スクレロスタチンの発現調節と骨代謝への影響	坂本 英次郎	第二保存科	¥1,000,000	補委	日本学術振興会

最終糖化産物とインフラマソームの関連から探る糖尿病関連歯周炎の病態	板東 美香	第二保存科	¥900,000	補委	日本学術振興会
糖尿病関連歯周炎の重症化機序におけるカルプロテクチンの作用	生田 貴久	第二保存科	¥800,000	補委	日本学術振興会
細胞性バイオマーカーを用いたインプラント疾患の診断とデバイス開発	木戸 淳一	歯周歯内治療学	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
破骨細胞と骨芽細胞のクロストーク(骨カップリング)を標的とした新規歯周治療の開発	稲垣 裕司	歯周歯内治療学	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
老化促進物質AGE(最終糖化産物)による歯髄、歯肉、歯槽骨への細胞機能障害の解析	永田 俊彦	歯周歯内治療学	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
ICAM-1の動態に着目した糖尿病関連歯周炎の病態機序の解明と診断システムの確立	梶浦 由加里	歯周歯内治療学	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
最終糖化産物AGEsによる糖尿病関連歯周炎の重症化機序の解明と診断システムの構築	永田 俊彦	歯周歯内治療学	¥4,900,000	補委	日本学術振興会
感染性心内膜炎に及ぼす歯周病原細菌感染度と炎症性サイトカインとの関係	二宮 雅美	歯周歯内治療学	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
金属アレルギー発症過程における樹状細胞遊走因子の解析	渡邊 恵	第一補綴科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
デジタル技術を用いたより衛生的で治療負担の少ない全部床義歯治療法の実用化	柏原 稔也	第一補綴科	¥500,000	補委	日本学術振興会
インプラント周囲炎に関連するmicroRNAの同定	岩脇 有軌	第一補綴科	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
PEEK樹脂による審美的クラスプの開発	石田 雄一	口腔顎顔面補綴学	¥1,900,000	補委	日本学術振興会
金属アレルギーの感作機序の解明とそれに基づく戦略的治療法の開発	市川 哲雄	口腔顎顔面補綴学	¥4,400,000	補委	日本学術振興会
サルコペニアによる摂食嚥下障害の早期発見と早期介入	永尾 寛	口腔顎顔面補綴学	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
オーラルフレイルのバイオマーカーの探索と補綴治療戦略	市川 哲雄	口腔顎顔面補綴学	¥800,000	補委	日本学術振興会
歯髄細胞の幹細胞化を応用した新規治療法の開発	上枝 麻友	第二補綴科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
BCS方式による歯列接触モニタの開発と応用	西川 啓介	第二補綴科	¥800,000	補委	日本学術振興会
歯への機械的刺激の中樞伝達メカニズムー咬合感覚違和感患者の治療法開発に向けてー	松香 芳三	顎機能咬合再建学	¥3,200,000	補委	日本学術振興会

金属アレルギー;感作と発症間に何があるのか?—特異的遺伝子の同定—	細木 真紀	顎機能咬合再建学	¥900,000	補委	日本学術振興会
歯髄・象牙質再生を促進する新規生体材料の開発	井上 美穂	顎機能咬合再建学	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
次世代歯科用CAD/CAMシステム—顎口腔機能情報の活用—→転出	重本 修伺	顎機能咬合再建学	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
睡眠時ブラキシズムの顎運動を制御する方法の検討	大倉 一夫	顎機能咬合再建学	¥800,000	補委	日本学術振興会
3T—MR撮影対応型非磁性血管内ステントおよび脳血管クリップの実用化	菅田 栄一	歯科放射線学	¥1,200,000	補委	日本学術振興会
歯科用IPによる放射性セシウム等の高エネルギー放射性物質検出感度の向上技術確立	吉田 みどり	歯科放射線学	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
IP-10 を分子標的としたシェーグレン症候群の新規診断・治療法の開発	青田 桂子	口腔内科	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
口腔癌に対するNF- $\kappa$ Bを分子標的とした併用化学療法の開発	可児 耕一	口腔内科	¥500,000	補委	日本学術振興会
口腔顔面痛に対する自律神経調節機能の強化—心拍変動バイオフィードバック法の試み—	桃田 幸弘	口腔内科学	¥1,800,000	補委	日本学術振興会
革新的硬組織再生・再建システム創製	宮本 洋二	口腔外科学	¥3,900,000	補委	文科省
オッセオインテグレーションとバイオインテグレーションの本質を細胞サイドから探る	宮本 洋二	口腔外科学	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
口腔癌顎骨浸潤モデルの確立と、顎骨浸潤評価を目的としたCT検査の開発	高橋 章	口腔外科	¥1,700,000	補委	日本学術振興会
発生期の上皮間葉相互作用を再現したiPS細胞の分化誘導法と唾液腺再生医療の開発	山村 佳子	口腔外科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
硫酸カルシウムから作製した多孔質炭酸アパタイトと骨髄幹細胞による骨再生医療の開発	藤澤 健司	口腔外科	¥1,700,000	補委	日本学術振興会
PD-1を標的としたHDAC阻害剤とOK-432による口腔癌に対する新規免疫療法	大江 剛	口腔外科	¥1,000,000	補委	日本学術振興会
口腔癌頸部リンパ節転移のバイオマーカーとしての血液中microRNAの探索	玉谷 哲也	口腔外科	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
iPS細胞と低結晶性炭酸アパタイトを用いたハイブリッド型人工骨による骨再生医療	永井宏和	口腔外科学	¥1,100,000	補委	日本学術振興会
創傷治癒不全および難治性口内炎に対する新規治癒促進剤としてのレプチンの挑戦	工藤 景子	口腔外科学	¥1,300,000	補委	日本学術振興会

口腔癌根治を目指した放射線治療の挑戦 —分子標的薬と抗癌剤の最適な併用法の 追究—	工藤 隆治	口腔外科学	¥1,100,000	補 委	日本学術 振興会
長寿遺伝子Sirtuin 3の吸入麻酔薬による 心筋保護作用における役割	北畑 洋	歯科麻酔科学	¥1,100,000	補 委	日本学術 振興会
再生神経細胞の軸索ガイダンスにおける 麻酔薬の関与	富岡 重正	歯科麻酔科学	¥800,000	補 委	日本学術 振興会
血管新生のin vitro評価系構築と周術期血 管新生医療への貢献	高石 和美	歯科麻酔科	¥400,000	補 委	日本学術 振興会
次世代型高解像度逆遺伝学を駆使した歯 牙形成異常関連遺伝子の構造機能相関 の解明	泰江 章博	矯正歯科	¥6,300,000	補 委	日本学術 振興会
加齢に伴う筋萎縮状態克服を目標とする 安心・安全な治療の基礎的検討	泰江 章博	矯正歯科	¥1,400,000	補 委	日本学術 振興会
骨系細胞による癌進展促進性と抑制性の 細胞微小環境形成の実態とその分子機序 の解明	天知 良太	矯正歯科	¥900,000	補 委	日本学術 振興会
成長期における咀嚼性刺激の変化が咀嚼 筋及び下顎骨の性状に及ぼす影響	七條 なつ子	矯正歯科	¥1,100,000	補 委	日本学術 振興会
HIF-1 $\alpha$ 遺伝子欠損マウスを用いた変形 性顎関節症発症メカニズム解明	森 浩喜	矯正歯科	¥1,200,000	補 委	日本学術 振興会
唾液腺における低出力パルス超音波照射 の抗炎症作用に関する検討	佐藤 南	矯正歯科	¥1,200,000	補 委	日本学術 振興会
筋萎縮性疾患に対する機能性リボソーム を用いた新規核酸医薬の開発	森 博世	矯正歯科	¥1,400,000	補 委	日本学術 振興会
頭蓋顎顔面領域高頻度疾患の原因究明 から病態発症機序解明への最先端研究 戦略	田中 栄二	口腔顎顔面矯 正学	¥2,800,000	補 委	日本学術 振興会
成長期におけるIGF-1シグナルを介した骨 格筋萎縮の機序解明と治療法の開発	川合 暢彦	口腔顎顔面矯 正学	¥1,100,000	補 委	日本学術 振興会
内分泌攪乱物質ダイオキシン受容体AhR による骨代謝調節機構解明への挑戦	井澤 俊	口腔顎顔面矯 正学	¥700,000	補 委	日本学術 振興会
癌細胞の低酸素、酸性環境下における薬 剤耐性に対する治療薬の開発	渡邊 佳一郎	口腔顎顔面矯 正学	¥800,000	補 委	日本学術 振興会
アロマターゼ遺伝子欠損マウスにおける シェーグレン症候群様病変と肥満との関 連	岩浅 亮彦	口腔顎顔面矯 正学	¥1,300,000	補 委	日本学術 振興会
p-HPPHを分子標的とした新規創傷治癒 促進薬の開発	中川 弘	小児歯科	¥1,900,000	補 委	日本学術 振興会
基質小胞分泌メカニズムの解明と石灰化 への応用	上田 公子(山 口公子)	小児歯科	¥1,100,000	補 委	日本学術 振興会

歯髄細胞による組織修復・恒常性維持における細胞間ネットワーク機構の解析	赤澤 友基	小児歯科	¥1,000,000	補 委	日本学術振興会
歯根膜組織の再生・恒常性維持マシナリーに関する新機能の探索および応用法の開発	長谷川 智一	小児歯科学	¥1,000,000	補 委	日本学術振興会
前象牙芽細胞の役割解明と象牙質再生への応用	岩本 勉	小児歯科学	¥2,400,000	補 委	日本学術振興会
頸部リンパ節の微小転移診断のための包括的超音波診断法の構築→廃止	菅原 千恵子	総合診療歯科学	¥1,900,000	補 委	日本学術振興会
3D-Printerで容易に成形できるリン酸カルシウムセメントの創製	河野 文昭	総合診療歯科学	¥1,500,000	補 委	日本学術振興会
歯科インプラント治療の確実性を高める多機能メンブレンの開発	内藤 禎人	口腔インプラントセンター	¥1,200,000	補 委	日本学術振興会
チタン焼結体の歯科補綴への応用	友竹 偉則	口腔インプラントセンター	¥1,000,000	補 委	日本学術振興会

計221件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Shimabukuro M, Saito T, Masuzaki H, 他	循環器内科	Screening of Coronary Artery Disease in Diabetic Patients: Who and How? ? reply ?	Circ J.2016;80:544	Original Article
2	Kusunose K, Yamada H	循環器内科	Rest and Exercise Echocardiography for Early Detection of Pulmonary Hypertension	J Echocardiogr.2016Mar;14 :2-12	Original Article
3	Sata M, Tanaka K, Fukuda D	循環器内科	Wire-Mediated Endovascular Injury That Induces Rapid Onset of Medial Cell Apoptosis Followed by Reproducible Neointimal Hyperplasia	Mouse Models of Vascular Diseases.2016;3-20	Original Article
4	Soeki T, Sata M	循環器内科	Inflammatory Biomarkers and Atherosclerosis	Int Heart J.2016;57:134-9	Original Article
5	Kusunose K, Yamada H, Suzukawa R, 他	循環器内科	Effects of Transthoracic Echocardiographic Simulator Training on Performance and Satisfaction in Medical Students	J Am Soc Echocardiogr.2016Apr;29: 375-7	Original Article
6	Kusunose K, Sato M, Yamada H,他	循環器内科	Prognostic Implications of Non-Invasive Vascular Function Tests in High-Risk Atherosclerosis Patients	Circ J.2016;80:1034-40	Original Article
7	Bando M, Yamada H, Kusunose K, 他	循環器内科	Noninvasive Quantitative Tissue Characterization of Carotid Plaque Using Color-coded Mapping Based on Ultrasound Integrated Backscatter	JACC Cardiovasc Imaging.2016May;9:625-7	Original Article
8	Shimabukuro M, Higa N, Masuzaki H, 他	循環器内科	Impact of Individual Metabolic Risk Components or Its Clustering on Endothelial and Smooth Muscle Cell Function in Men	Cardiovas Diabetol.2016 May;15:77	Original Article
9	Shimabukuro M, Okawa C, Yamada H, 他	循環器内科	The Pathophysiological Role of Oxidized Cholesterols in Epicardial Fat Accumulation and Cardiac Dysfunction: A Study in Swine Fed a High Caloric Diet with An Inhibitor of Intestinal Cholesterol Absorption, Ezetimib.	J Nutr Biochem.2016 Sep;35:66-73	Original Article
10	Shimabukuro M, Sato H, Izaki H, 他	循環器内科	Depot- and Gender-Specific Expression of NLRP3 Inflammasome and Toll-Like Receptors in Adipose Tissue of Cancer Patients	Biofactors.2016 Jul;42:397-406	Original Article
11	Kusunose K, Yamada H	循環器内科	Noninvasive Vascular Function Tests - Long Journey for Predicting Cardiovascular Events	Circ J.2016 May;80:1321- 2	Original Article
12	Soeki T, Matsuura T, Bando S, 他	循環器内科	Relationship between Local Production of MicroRNA-328 and Atrial Substrate Remodeling in Atrial Fibrillation	J Cardiol.2016 Dec;68:472-477	Original Article
13	Nishioka Y.	呼吸器・膠原病内科	Cancer Immunotherapy as a promising fourth standard therapy for lung cancer: Beyond 20 years for the development of immunotherapy	Respir Investig. 2016 Sept; 54: 297	Review

14	Abe S, Kato KM, Tsuchihashi Y, 他	呼吸器・膠原病内科	Antitumor effect of novel anti-podoplanin antibody NZ-12 against malignant pleural mesothelioma in an orthotopic xenograft model	Cancer Sci. 2016 Sept; 107: 1198-1205	Original Article
15	Ogino H, Hanibuchi M, Kakiuchi S, 他	呼吸器・膠原病内科	Analysis of the prognostic factors of extensive disease small-cell lung cancer patients in Tokushima University Hospital	J Med Invest. 2016 Aug; 63: 286-293	Original Article
16	Toyoda Y, Hanibuchi M, Kishi J, 他	呼吸器・膠原病内科	Clinical features and outcome of acute exacerbation of interstitial pneumonia associated with connective tissue disease.	J Med Invest. 2016 Aug; 63: 294-299	Original Article
17	Toyoda Y, Ozaki R, Kishi J, 他	呼吸器・膠原病内科	An autopsy case of aortic intimal sarcoma initially diagnosed as polyarteritis nodosa.	Intern Med. 2016 Nov; 55: 3191-3195	Case report
18	Kakiuchi S, Hanibuchi M, Tezuka T, 他	呼吸器・膠原病内科	Analysis of acute exacerbation of interstitial lung disease associated with chemotherapy in patients with lung cancer: a feasibility of S-1?	Respir Investig. 2017 Feb; 55: 145-152	Original Article
19	Saijo A, Hanibuchi M, Goto H, 他	呼吸器・膠原病内科	An analysis of the clinical features of lung cancer in patients with connective tissue diseases.	Respir Investig. 2017 Feb; 55: 153-160	Original Article
20	Miyoshi J, Toden S, Yoshida K, 他	消化器内科	MIR-139-5p as a novel serum biomarker for recurrence and metastasis in colorectal cancer.	Scientific Reports. 2017 Mar;7:43393	Original Article
21	Fujino Y, Takeishi S, Nishida K, 他	消化器内科	Downregulation of miR-100/miR-125b is associated with lymph node metastasis in early colorectal cancer with submucosal invasion.	Cancer Sci. 2017 Mar;108(3): 390-397.	Original Article
22	Takaoka T, Kimura T, Shimoyama R, 他	消化器内科	Panitumumab in combination with irinotecan plus S-1 (IRIS) as second-line therapy for metastatic colorectal cancer.	Cancer Chemotherapy and Pharmacology. 2016 Aug, 78(2):397-403	Original Article.
23	Muguruma N, Tanaka K, Teramae S, 他	消化器内科	Colon capsule endoscopy: toward the future.	Clin J Gastroenterol. 2017 Feb; 10(1): 1-6	Review
24	Okamoto K, Kitamura S, Kimura T, 他	消化器内科	Clinicopathological Characteristics of Serrated Polyps as Precursors to Colorectal Cancer: Current Status and Management.	J Gastroenterol Hepatol. 2017 Feb; 32(2):358-367.	Review
25	Sogabe M, Okahisa T, Kimura T, 他	消化器内科	Influence of metabolic syndrome on upper gastrointestinal disease.	Clin J Gastroenterol. 2016 Aug; 9(4):191-202	Review
26	Kimura T, Miyamoto H, Fukuya A, 他	消化器内科	Neuroendocrine carcinoma of the pancreas with similar genetic alterations to invasive ductal adenocarcinoma.	Clin J Gastroenterol. 2016 Aug; 9(4): 261-265	Case Report
27	Kagawa M, Fujino Y, Muguruma N, 他	消化器内科	Localized amyloidosis of the stomach mimicking a superficial gastric cancer.	Clin J Gastroenterol. 2016 Jun;9(3): 109-113	Case Report
28	Miyamoto Y, Muguruma N, Kimura T, 他	消化器内科	Protein-losing enteropathy in a patient with familial adenomatous polyposis and advanced colon cancer.	Clin J Gastroenterol. 2016 Jun; 9(3): 134-139	Case Report

小計15件



29	Yoshimoto S, Nagai K, Shibata E, 他	腎臓内科	Influential factors on serum albumin concentration in hospitalized chronic kidney disease patients	The Journal of Medical Investigation, 2017 Feb; 64(1.2): 146-52	Original Article
30	M Matsuhisa, M Koyama, X Cheng, 他	内分泌・代謝内科	New insulin glargine 300U/mL versus glargine 100U/mL in Japanese adults with type 1 diabetes using basal and mealtime insulin: glucose control and hypoglycaemia in a randomized controlled trial (Edition JP 1)	Diabetes Obes Metab. 2016 Apr;18(4):375-83	Original Article
31	N Mita, S Kawahito, T Soga, 他	内分泌・代謝内科	Strict blood glucose control by an artificial endocrine pancreas during hepatectomy may prevent postoperative kidney injury.	J Artif Organs. 2017 Mar;20(1):76-83	Original Article
32	F Tanihara, T Takemoto, E Kitagawa, 他	内分泌・代謝内科	Somatic cell reprogramming-free generation of genetically modified pigs.	Sci Adv. 2016 Sep (オンライン);2(9):e1600803	Original Article
33	T Yuasa, Shinnoki K, S Ishikura, 他	内分泌・代謝内科	Sequential cleavage of insulin receptor by calpain 2 and $\gamma$ -secretase impairs insulin signalling.	Diabetologia. 2016 Dec;59(12):2711-2721	Original Article
34	T Kondo, I Endo, Y Ooguro, 他	内分泌・代謝内科	Suppression of the hypothalamic-pituitary-adrenal axis by maximum androgen blockade in a patient with prostate cancer.	Internal Medicine. 55(24):3623-3626, 2016	Original Article
35	M Matsuhisa, M Koyama, X Cheng, 他	内分泌・代謝内科	Sustained glycaemic control and less nocturnal hypoglycaemia with insulin glargine 300U/mL compared with glargine 100U/mL in Japanese adults with type 1 diabetes (EDITION JP 1 randomized 12-month trial including 6-month extension)	Diabetes Research Clinical Practice. 122:133-140, 2016	Original Article
36	Kurahashi K, Endo I, Kondo T, 他	内分泌・代謝内科	Remarkable shrinkage of a GH-secreting macroadenoma induced by somatostatin analogue administration; a case report and a literature review.	Intern Med. In press	Original Article
37	Kondo T, Endo I, Aihara K, 他	内分泌・代謝内科	Serum carboxy-terminal telopeptide of type I collagen levels are associated with carotid atherosclerosis in patients with cardiovascular risk factors.	Endocr J. 2016 Apr 25;63(4):397-404	Original Article
38	Yoshida S, Ikeda Y, Aihara K.	内分泌・代謝内科	Roles of the androgen - androgen receptor system in vascular angiogenesis.	J Atheroscler Thromb. 2016;23(3):257-65	Review
39	Harada T, Miki H, Cui Q, 他	血液内科	Expansion of Th1-like $V\gamma 9V\delta 2T$ cells by new generation IMiDs, lenalidomide and pomalidomide, in combination with zoledronic acid.	Leukemia. 31(1):258-262, 2017.	Letter
40	Bat-Erdene A, Miki H, Oda A, 他	血液内科	Synergistic targeting of Sp1, a critical transcription factor for myeloma cell growth and survival, by panobinostat and proteasome inhibitors.	Oncotarget. 7(48):79064-79075, 2016. (オンライン)	Original Article
41	Yamamoto Y, Matsui N, Hiramatsu Y, 他	神経内科	Mitochondrial trifunctional protein deficiency: an adult patient with similar progress to Charcot-Marie-Tooth disease.	Rinsho Shinkeigaku. 2017 Feb 25;57(2):82-87.	case report
42	Furukawa T, Matsui N, Tanaka K, 他	神経内科	A case of neuromyelitis optica spectrum disorder (NMOSD) with Sjögren's syndrome manifested only brain involvement by preceding parotitis.	Rinsho Shinkeigaku. 2017 Feb 25;57(2):77-81.	case report
43	Murakami N, Imamura K, Izumi Y, 他	神経内科	Proteasome impairment in neural cells derived from HMSN-P patient iPSCs.	Mol Brain. 2017 Feb 15;10(1):7.	Original Article

44	Yamamoto N, Satomi J, Yamamoto Y, 他	神経内科	Usefulness of 3-Tesla magnetic resonance arterial spin-labeled imaging for diagnosis of cranial dural arteriovenous fistula.	J Neurol Sci. 2017 Jan 15;372:428-432.	Original Article
45	Kawarai T, Yamasaki K, Mori A, 他	神経内科	MFN2 transcripts escaping from nonsense-mediated mRNA decay pathway cause Charcot-Marie-Tooth disease type 2A2.	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2016 Nov;87(11):1263-1265.	letter
46	Shimatani Y, Nakano Y, Tsuyama N, 他	神経内科	Extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type, manifesting as rapidly progressive dementia without any mass or enhancing brain lesion.	Neuropathology 2016 Oct;36(5):456-463.	case report
47	Furukawa T, Ishifune C, Tsukumo S, 他	神経内科	Transmission of survival signals through Delta-like 1 on activated CD4+ T cells.	Sci Rep 2016 Sep 23;6:33692.	Original Article
48	Sako W, Abe T, Murakami N, 他	神経内科	Imaging-based differential diagnosis between multiple system atrophy and Parkinson's disease.	J Neurol Sci. 2016 Sep 15;368:104-8.	Original Article
49	Mori A, Nodera H, Takamatsu N, 他	神経内科	Response to "Sonographic evaluation of peripheral nerves in subtypes of Guillain-Barré syndrome".	J Neurol Sci. 2016 Jul 15;366:234.	Original Article
50	Kawarai T, Miyamoto R, Shimatani Y, 他	神経内科	Choreoathetosis, Dystonia, and Myoclonus in 3 Siblings With Autosomal Recessive Spinocerebellar Ataxia Type 16.	JAMA Neurol. 2016 Jul 1;73(7):888-90.	Original Article
51	Kawarai T, Tajima A, Kuroda Y, 他	神経内科	A homozygous mutation of VWA3B causes cerebellar ataxia with intellectual disability.	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2016 Jun;87(6):656-62.	Original Article
52	Osaki Y, Fujita K, Abe T, 他	神経内科	Mystery Case: Parkinsonism in a diabetic uremic patient.	Neurology 2016 May 31;86(22):e225-7. オンライン	case report
53	Mori A, Nodera H, Takamatsu N, 他	神経内科	Sonographic evaluation of peripheral nerves in subtypes of Guillain-Barré syndrome.	J Neurol Sci. 2016 May 15;364:154-9.	Original Article
54	Kaji S, Kawarai T, Miyamoto R, 他	神経内科	Late-onset spastic paraplegia type 10 (SPG10) family presenting with bulbar symptoms and fasciculations mimicking amyotrophic lateral sclerosis.	J Neurol Sci. 2016 May 15;364:45-9.	case report
55	Sako W, Abe T, Izumi Y, 他	神経内科	The ratio of N-acetyl aspartate to glutamate correlates with disease duration of amyotrophic lateral sclerosis.	J Clin Neurosci. 2016 May;27:110-3.	Original Article
56	Sako W, Murakami N, Izumi Y, 他	神経内科	The difference of apparent diffusion coefficient in the middle cerebellar peduncle among parkinsonian syndromes: Evidence from a meta-analysis.	J Neurol Sci. 2016 Apr 15;363:90-4.	Original Article
57	Sako W, Abe T, Izumi Y, 他	神経内科	Fractional anisotropy in the supplementary motor area correlates with disease duration and severity of amyotrophic lateral sclerosis.	Neurol Sci. 2016 Apr;37(4):573-7.	Original Article
58	Kawatani Y, Nakamura Y, Mochida Y, 他	心臓血管外科	Contrast Medium Induced Nephropathy after Endovascular Stent Graft Placement: An Examination of Its Prevalence and Risk Factors.	Radiol Res Pract.	Original Article

小計15件

59	Kawatani Y, Nakamura Y, Kurobe H, 他	心臟血管外科	Correlations of perioperative coagulopathy, fluid infusion and blood transfusions with survival prognosis in endovascular aortic repair for ruptured abdominal aortic aneurysm.	World J Emerg Surg. 2016 Jun; 11: 29	Original Article
60	Kawatani Y, Nakamura Y, Hayashi Y, 他	心臟血管外科	Thoracic endovascular aortic repair of a severely angulated aorta using a double-wire technique.	J Surg Case Rep. 2016 Jul 15; (7)	Case report
61	Morimoto M, Takahashi M, Honda J, 他	食道・乳腺甲状腺外科	Assay of serum E2 concentration in postmenopausal breast cancer patients using a high-sensitivity RIA method is generally useful.	J Med Invest. 2016; 63(3-4):236-40	Original Article
62	Nakagawa M, Morimoto M, Takechi H, 他	食道・乳腺甲状腺外科	Preoperative diagnosis of sentinel lymph node (SLN) metastasis using 3D CT lymphography (CTLG)	Breast Cancer 2016; 23(3) : 519-24	Original Article
63	Morimoto M, Bando Y, Nakagawa M, 他	食道・乳腺甲状腺外科	Immunocytochemical results for HER2 and Ki67 in breast cancer touch-smear cell specimens are reliable	Breast Cancer 2016; 23(4) : 577-82	Original Article
64	Takahiro Yoshida, Kideok Jin, Hong Song, Sunju Park, 他	食道・乳腺甲状腺外科	Effective Treatment of Ductal Carcinoma In Situ with a HER-2-Targeted Alpha-Particle Emitting Radionuclide in a Preclinical model of Human Breast cancer	Oncotarget 2016; 7(22) : 33306-15.	Original Article
65	Nishino T, Yoshida T, Inoue S, 他	食道・乳腺甲状腺外科	Gender differences in clinicopathological features and prognosis of squamous cell carcinoma of the esophagus	Esophagus 2017; 14(2):122-30	Original Article
66	Toba H, Sakiyama S, Takizawa H, 他	呼吸器外科	Safe and successful treatment with afatinib in three postoperative non-small cell lung cancer patients with recurrences following gefitinib/erlotinib-induced hepatotoxicity.	J Med Invest. 2016; 63(1-2):149-51	Original Article
67	Kawakita N, Takizawa H, Kondo K, 他	呼吸器外科	Indocyanine Green Fluorescence Navigation Thoracoscopic Metastasectomy for Pulmonary Metastasis of Hepatocellular Carcinoma.	Ann Thorac Cardiovasc Surg 2016; 22(6):367-9	Original Article
68	Uyama K, Sakiyama S, Yoshida M, 他	呼吸器外科	Lung regeneration by fetal lung tissue implantation in a mouse pulmonary emphysema model.	J Med Invest. 2016; 63(3-4):182-6	Original Article
69	Kajiura K, Masuda K, Naruto T, 他	呼吸器外科	Frequent silencing of the candidate tumor suppressor TRIM58 by promoter methylation in early-stage lung adenocarcinoma.	Oncotarget 2017; 8(2):2890-2905	Original Article
70	Kawakita N, Takizawa H, Kajiura K, 他	呼吸器外科	Indocyanine Green Fluorescence Intraoperative Imaging for Hepatic Hydrothorax With a Small Diaphragmatic Defect.	Semin Thorac Cardiovasc Surg. 2016; 28(2):606-8	Original Article
71	Shimabukuro M	泌尿器科	Depot- and gender-specific expression of NLRP3 inflammasome and toll-like receptors in adipose tissue of cancer patients	Biofactors. 2016 Jul 8;42(4):397-406	Original Article
72	Tomoya Fukawa	泌尿器科	Excessive fatty acid oxidation induces muscle atrophy in cancer cachexia	Nature Medicine. 2016 Jun;22(6):666-71	Original Article
73	Nagai K	泌尿器科	The effect of albumin leakage in hemodialysis patients on redox status of serum albumin	Journal of Artificial Organs. 2016 Sep;19(3):310-4	Original Article

74	Shintani T	泌尿器科	The Involvement of Hepatocyte Growth Factor-MET-Matrix Metalloproteinase 1 Signaling in Bladder Cancer Invasiveness and Proliferation.Effect of the MET Inhibitor,Cabozantinib(XL184),on Bladder Cancer Cells.	Urology.2017 Mar;101:169.e7-169.e13	Original Article
75	Dondoo TO	泌尿器科	Galectin-3 Is Implicated in Tumor Progression and Resistance to Anti-androgen Drug Through Regulation of Androgen Receptor Signaling in Prostate Cancer.	Anticancer Reserch.2017 Jan;37(1):125-134	Original Article
76	Yoshikawa K	消化器・移植外科	Combined liver mobilization and retraction: A novel technique to obtain the optimal surgical field during laparoscopic total gastrectomy.	Asian J Endosc Surg. 2016 May;9(2):111-5	Original Article
77	Yoshikawa K	消化器・移植外科	Limited lymph node dissection in elderly patients with gastric cancer.	J Med Invest. 2016;63(1-2):91-5	Original Article
78	Nakao T	消化器・移植外科	Propensity score-matched study of laparoscopic and open surgery for colorectal cancer in rural hospitals.	J Gastroenterol Hepatol. 2016 Oct;31(10):1700-1704.	Original Article
79	Iwahashi S	消化器・移植外科	Epithelial-mesenchymal transition-related genes are linked to aggressive local recurrence of hepatocellular carcinoma after radiofrequency ablation.	Cancer Lett. 2016 May 28;375(1):47-50.	Original Article
80	Yada K	消化器・移植外科	The Kompo medicine "Daikenchuto (TU-100)" prevents bacterial translocation and hepatic fibrosis in a rat model of biliary atresia.	Surgery. 2016 Jun;159(6):1600-1611.	Original Article
81	Yada K	消化器・移植外科	Intrascrotal Lipoblastoma: Report of a case and the Review of literature.	Surg Case Rep. 2016 Dec;2(1):34.	Case report
82	Yamada S	消化器・移植外科	Liver regeneration after splenectomy in patients with liver cirrhosis.	Hepatology Res. 2016 Mar;46(5):443-9.	Original Article
83	Eto S	消化器・移植外科	Programmed cell death protein 1 expression is an independent prognostic factor in gastric cancer after curative resection.	Gastric Cancer. 2016 Apr;19(2):466-71.	Original Article
84	Teraoku H	消化器・移植外科	Role of thrombospondin-1 expression in colorectal liver metastasis and its molecular mechanism.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2016 Sep;23(9):565-73.	Original Article
85	Teraoku H	消化器・移植外科	Complication of portal vein thrombosis after right hemihepatectomy in a patient lacking the portal vein bifurcation	J Med Invest. 2016;63(3-4):315-8.	Case report
86	Davaadorj M	消化器・移植外科	Loss of SFRP1 Expression Is Associated with Poor Prognosis in Hepatocellular Carcinoma.	Anticancer Res. 2016 Feb;36(2):659-64.	Original Article
87	Wubetu GY	消化器・移植外科	High NEK2 Expression Is a Predictor of Tumor Recurrence in Hepatocellular Carcinoma Patients After Hepatectomy.	Anticancer Res. 2016 Feb;36(2):757-62.	Original Article
88	Wubetu GY	消化器・移植外科	Epigallocatechin gallate hinders human hepatoma and colon cancer sphere formation.	J Gastroenterol Hepatol. 2016 Jan;31(1):256-64	Original Article

小計15件

89	Fujihara-Mino A, Mitamura Y, Inomoto N, 他	眼科	Optical coherence tomographic parameters predictive of visual outcome after anti-vascular endothelial growth factor therapy for retinal vein occlusion	Clin Ophthalmol 10: 1305-1313,2016	Original Article
90	Egawa M, Mitamura Y, Akaiwa K, 他	眼科	Changes of choroidal structure after corticosteroid treatment in eyes with Vogt-Koyanagi-Harada disease.	Br J Ophthalmol 100:1646-1650, 2016	Original Article
91	Y. Kitamura, H. Mizuguchi, K. Okamoto, 他	耳鼻咽喉科	Irradiation with narrowband-ultraviolet B suppresses phorbol ester-induced up-regulation of H1 receptor mRNA in HeLa cells.	Acta Otolaryngol. 2016 Mar; 136: 409-413. 2016.	Original Article
92	S. Nakano, H. Iwasaki, E. Kondo, 他	耳鼻咽喉科	Efficacy of proton pump inhibitor in combination with rikkunshito in patients complaining of globus pharyngeus	J. Med. Invest. 2016 Aug ; 63: 227-229	Original Article
93	Wada K, Mikami H, Hamada D, 他	整形外科	Measurement of rotational and coronal alignment in total knee arthroplasty using a navigation system is reproducible.	Arch Orthop Trauma Surg.136(2): 271-276, 2016	Original Article
94	Hamada D, Maynard R, Schott E, 他	整形外科	Suppressive Effects of Insulin on Tumor Necrosis Factor-Dependent Early Osteoarthritic Changes Associated with Obesity and Type 2 Diabetes Mellitus	Arthritis Rheumatol. 68(6): 1392-1402, 2016	Original Article
95	Jha SC, Tonogai I, Higashino K, 他	整形外科	Postoperative discal cyst: An unusual complication after microendoscopic discectomy in teenagers.	Asian J Endosc Surg. 9(1): 89-92, 2016	Original Article
96	Kimura T, Sakai T, Tezuka F, 他	整形外科	Compression Myelopathy due to Proliferative Changes around C2 Pars Defects without Instability.	Asian Spine J. 10(3): 565- 569, 2016	Original Article
97	Takata Y, Higashino K, Morimoto M, 他	整形外科	Vacuum Phenomenon of the Sacroiliac Joint: Correlation with Sacropelvic Morphology.	Asian Spine J. 10(4): 762- 766, 2016	Original Article
98	Yamashita K, Ikuma H, Tokashiki T, 他	整形外科	Radiation exposure to the hand of a spinal interventionalist during fluoroscopically guided procedures.	Asian spine J. 11(1): 75- 81, 2017	Original Article
99	Mineta K, Goto T, Wada K, 他	整形外科	CT-based morphological assessment of the hip joint in Japanese patients:association with radiographic predictors of femoroacetabular impingement.	Bone Joint J. 98-B(9): 1167-1174, 2016	Original Article
100	Kimura T, Goto T, Hamada D, 他	整形外科	Subchondral Insufficiency Fracture of the Femoral Head Caused by Excessive Lateralization of the Acetabular Rim.	Case Rep Orthop. 2016 May 11 (オンライン)	Case report
101	Morimoto M, Higashino K, Katoh S, 他	整形外科	A Rare Case of Progressive Palsy of the Lower Leg Caused by a Huge Lumbar Posterior Endplate Lesion after Recurrent Disc Herniation.	Case Rep Orthop. 2016 Aug 28 (オンライン)	Case report
102	Takasago T, Goto T, Wada K,他	整形外科	Metallosis after Exchange of the Femoral Head and Liner following Ceramic Acetabular Liner Dissociation in Total Hip Arthroplasty with a Modular Layered Acetabular Component.	Case Rep Orthop. 2016 Aug 25 (オンライン)	Case report
103	Shinohara A, Sairyo K, Mishiro T,他	整形外科	Insertional Torque in Cervical Vertebrae Lateral Mass Screw Fixation: Magerl Technique Versus Roy-Camille Technique.	Clin Spine Surg. 2016 Sep 10 (オンライン)	Original Article

104	Tezuka F, Sairyō K, Sakai T, 他	整形外科	Etiology of Adult-onset Stress Fracture in the Lumbar Spine.	Clin Spine Surg. 2016 Jun 20 (オンライン)	Original Article
105	Goda Y, Sakai T, Harada T, 他	整形外科	Degenerative Changes of the Facet Joints in Adults with Lumbar Spondylolysis.	Clin Spine Surg. 2016 Jul 14 (オンライン)	Original Article
106	Toki S, Nishisho T, Miyagi R, 他	整形外科	Early Referral to Orthopedic Surgeon Prevents Skeletal Related Events: A Comparison of Patients with Cancer of Known and Unknown Primary Origin at Initial Presentation in a Musculoskeletal Department	EC orthopaedics.	Original Article
107	Tsutsui T, Hamada D, Goto T, 他	整形外科	Third Revision of Unlinked Total Elbow Arthroplasty with Impaction Allografting and Postoperative Teriparatide Treatment: A Case Report	EC orthopaedics. 3(5): 381-385, 2016	Case report
108	Nagamachi A, Hibino N, Yoshikawa Y, 他	整形外科	Quantitative changes in bone mineral density and lean and fat mass in patients with osteoporotic vertebral compression fractures treated by three weeks of bed rest.	EC Orthopaedics. 3(6): 409-414, 2016	Original Article
109	Sakai T, Goda Y, Tezuka F, 他	整形外科	Clinical features of patients with pars defects identified in adulthood.	Eur J Orthop Surg Traumatol. 26(3): 259-262, 2016	Original Article
110	Sakai T, Goda Y, Tezuka F, 他	整形外科	Characteristics of lumbar spondylolysis in elementary school age children.	Eur Spine J. 25(2): 602-606, 2016	Original Article
111	Tezuka F, Sakai T, Nishisho T, 他	整形外科	Variations in arterial supply to the lower lumbar spine.	Eur Spine J. 25(12): 4181-4187, 2016	Original Article
112	Goto T, Sakai T, Enishi T, 他	整形外科	Changes of posture and muscle activities in the trunk and legs during walking in patients with lumbar spinal stenosis after decompression surgery. A preliminary report.	Gait Posture. 51(1): 149-152, 2016	Original Article
113	Takasago T, Yukata K, Nishisho T, 他	整形外科	Snapping shoulder caused by glenoid labral bone apposition: A case report.	Int J Shoulder Surg. 10(1): 48-49, 2016	Case report
114	Wada K, Goto T, Tezuka F, 他	整形外科	Variations in the obturator artery around the obturator foramen assessed by three-dimensional computed tomographic angiography and prevention of vascular-related complications in rotational acetabular osteotomy.	Int. Orthop. 41(1): 133-139, 2017	Original Article
115	Wada K, Hamada D, Tamaki S, 他	整形外科	Influence of Medial Collateral Ligament Release for Internal Rotation of Tibia in Posterior-Stabilized Total Knee Arthroplasty: A Cadaveric Study.	J Arthroplasty. 32(1): 270-273, 2017	Original Article
116	Kimura T, Takai H, Azuma T, 他	整形外科	Motion Analysis of the Trapeziometacarpal Joint Using Three-dimensional Computed Tomography.	J Hand Surg Asian Pac Vol. 21(1): 78-84, 2016	Original Article
117	Terada Y, Tamada D, Kose K, 他	整形外科	Acceleration of skeletal age MR examination using compressed sensing.	J Magn Reson Imaging. 44(1): 204-211, 2016	Original Article
118	Nagamachi A, Takahashi M, Mima N, 他	整形外科	Radiographic changes of cervical destructive spondyloarthropathy in long-term hemodialysis patients: A 9-year longitudinal observational study.	J Med Invest. 64(1.2): 68-73, 2017	Original Article

小計15件

119	Hamada D, Wada K, Mikami H, 他	整形外科	The Posterior Condylar Cartilage Affects Rotational Alignment of the Femoral Component in Varus Knee Osteoarthritis	J Med Invest. 64(1.2): 24-29, 2017	Original Article
120	Iwame T, Matsuura T, Suzue N, 他	整形外科	Outcome of an elbow check-up system for child and adolescent baseball players.	J Med Invest. 63(3.4): 171-174, 2016	Original Article
121	Jha SC, Takata Y, Abe M, 他	整形外科	High intensity zone in lumbar spine and its correlation with disc degeneration	J Med Invest. 64(1.2): 39-42, 2017	Original Article
122	Nishisho T, Sakai T, Tezuka F, 他	整形外科	Delayed Diagnosis of Primary Bone and Soft Tissue Tumors Initially Treated as Degenerative Spinal Disorders.	J Med Invest. 63(3.4): 274-277, 2016	Original Article
123	Nishisho T, Takao S, Miyagi R, 他	整形外科	Complete spontaneous regression of a subpubic cartilaginous cyst: a case report.	J Med Invest. 63(3.4): 319-322, 2016	Case report
124	Toki S, Nishisho T, Miyagi R, 他	整形外科	Fibroma of tendon sheath on the medial side of the knee: a case report.	J Med Invest. 64(1.2): 173-176, 2017	Case report
125	Hasebe K, Okubo Y, Kaneoka K, 他	整形外科	The effect of dynamic stretching on hamstrings flexibility with respect to the spino-pelvic rhythm.	J Med Invest. 63(1.2): 85-90, 2016	Original Article
126	Jha SC, Fukuta S, Wada K, 他	整形外科	Optimizing baseplate position in reverse total shoulder arthroplasty in small-sized Japanese females: technical notes and literature review.	J Med Invest. 63(1.2): 8-14, 2016	Original Article
127	Jha SC, Higashino K, Sakai T, 他	整形外科	Clinical Significance of High-intensity Zone for Discogenic Low Back Pain: A Review.	J Med Invest. 63(1.2): 1-7, 2016	Original Article
128	Jha SC, Sakai T, Hangai M, 他	整形外科	Stress fracture of the thoracic spine in an elite rhythmic gymnast: A case report.	J Med Invest. 63(1.2): 119-121, 2016	Case report
129	Kawaguchi S, Fukuta S, Tsutsui T, 他	整形外科	Arthroscopic excision of unstable os acromiale associated with impingement syndrome: a case report.	J Med Invest. 63(1.2): 131-134, 2016	Case report
130	Mineta K, Suzue N, Matsuura T, 他	整形外科	Efficacy of Achilles Suture Bridge Technique for Insertional Achilles Tendinosis in an Obese and Athletic Patient.	J Med Invest. 63(3.4): 310-314, 2016	Original Article
131	Saiyo K, Higashino K, Yamashita K, 他	整形外科	A new concept of transforaminal ventral facetectomy including simultaneous decompression of foraminal and lateral recess stenosis: Technical consideration in a fresh cadaver model and a literature review.	J Med Invest. 64(1.2): 1-6, 2017	Original Article
132	Sugiura K, Sakai T, Adachi K, 他	整形外科	Complete Fracture-Dislocation of the Thoracolumbar Spine with No Critical Neurological Deficit: A Case Report.	J Med Invest. 63(1.2): 122-126, 2016	Case report
133	Yamashita K, Higashino K, Sakai T, 他	整形外科	Revision percutaneous endoscopic lumbar discectomy under the local anesthesia for the recurrent lumbar herniated nucleus pulposus in a high class athlete: A case Report.	J Med Invest. 63(1.2): 135-139, 2016	Case report

134	Yamashita K, Higashino K, Sakai T, 他	整形外科	The reduction and direct repair of isthmic spondylolisthesis using the smiley face rod method in adolescent athlete: Technical note.	J Med Invest. 64(1.2): 168-172, 2017	Original Article
135	Sakai T, Tezuka F, Abe M, 他	整形外科	Pediatric Patient with Incidental Os Odontoideum Safely Treated with Posterior Fixation Using Rod-Hook System and Preoperative Planning Using 3D Printer: A Case Report.	J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg.	Case report
136	Henmi T, Terai T, Hibino N, 他	整形外科	Percutaneous endoscopic lumbar discectomy utilizing ventral epiduroscopic observation technique and foraminoplasty for transligamentous extruded nucleus pulposus: technical note.	J Neurosurg Spine. 13: 1-6, 2016	Original Article
137	Yamamoto N, Miyagi R, Sakai T, 他	整形外科	Magnetic resonance imaging and diffusion-weighted imaging findings in posterior spinal cord infarction: Case report.	J Orthop Sci. 2016 May 13 (オンライン)	Case report
138	Goto T, Mineta K, Wada K, 他	整形外科	Correlation between coxa profunda and morphological parameters of acetabular coverage in a Japanese cohort: A CT study.	J Orthop Sci. 21(5): 667-672, 2016	Original Article
139	Nakamura M, Shimakawa T, Nakano S, 他	整形外科	Failure rates of Asian-type anatomic medullary locking stemmed metal-on-metal total hip replacement: A cause for adverse tissue reactions to metal debris (ARMD).	J Orthop Sci. 21(6): 779-785, 2016	Original Article
140	Saiyo K, Nagamachi A.	整形外科	State-of-the-art management of low back pain in athletes: Instructional lecture.	J Orthop Sci. 21(3): 263-272, 2016	Other
141	Hama S, Takata Y, Sakai T, 他	整形外科	Sacral fatigue fractures in children with sacral spina bifida occulta.	J Pediatr Orthop B. 25(3): 278-282, 2016	Original Article
142	Hama S, Tonogai I, Sakai T, 他	整形外科	Pediatric isthmic spondylolisthesis showing radiologic evidence of slippage after physis injury.	J Pediatr Orthop B. 26(4): 388-392, 2016	Original Article
143	Jha SC, Nishisho T, Matsuura T, 他	整形外科	Pigmented villonodular synovitis of the knee joint in a 5-year-old girl treated with combined open and arthroscopic surgery: a casereport.	J Pediatr Orthop B. 25(6): 564-9, 2016	Case report
144	Kita K, Yamashita K, Abe M, 他	整形外科	Eight-year follow-up findings of surgical treatment for severe dystrophic changes in the cervical spine associated with neurofibromatosis type I: a case report.	J Pediatr Orthop B. 26(1): 91-94, 2016	Case report
145	Higuchi T, Tonogai I, Sakai T, 他	整形外科	Hysterical conversion paralysis in an adolescent boy with lumbar spondylolysis.	J Pediatr Orthop B. 25(3): 271-274, 2016	Original Article
146	Sato N, Taniguchi T, Goda Y, 他	整形外科	Proteomic Analysis of Human Tendon and Ligament: Solubilization and Analysis of Insoluble Extracellular Matrix in Connective Tissues.	J Proteome Res. 15(12): 4709-4721, 2016	Original Article
147	Fukuta S, Tsutsui T, Amari R, 他	整形外科	Tendon retraction with rotator cuff tear causes a decrease in cross-sectional area of the supraspinatus muscle on magnetic resonance imaging.	J Shoulder Elbow Surg. 25(7): 1069-1075, 2016	Original Article
148	Tamaki S, Yamashita K, Higashino K, 他	整形外科	Lumbar posterior apophyseal ring fracture combined with spondylolysis in pediatric athletes: case series of three patients.	JBJS case connector 6: e64, 2016	Case report

小計15件



149	Yamashita K, Higashino K, Sakai T, 他	整形外科	Natural correction and adaptation of a severely deformed sacral dome in isthmic spondylolisthesis in a male teen.	JBJS case connector	Case report
150	Nitta A, Sakai T, Goda Y, 他	整形外科	Prevalence of Symptomatic Lumbar Spondylolysis in Pediatric Patients.	Orthopedics. 39(3): 434-437, 2016	Original Article
151	Matsuura T, Suzue N, Iwame T, 他	整形外科	Epidemiology of shoulder and elbow pain in youth baseball players	Phys Sportsmed. 44(2): 97-100, 2016	Original Article
152	Mineta K, Goto T, Wada K, 他	整形外科	Comparison of femoroacetabular impingement-related radiographic features in a convenience sample of Japanese patients with and without herniation pits.	Skeletal Radiology. 45(8): 1079-1088, 2016	Original Article
153	Goda Y, Higashino K, Toki S, 他	整形外科	The Pullout Strength of Pedicle Screws Following Redirection After Lateral Wall Breach or End-plate Breach.	Spine (Phila Pa 1976). 41(15): 1218-1223, 2016	Original Article
154	Sakai T, Tezuka F, Yamashita K, 他	整形外科	Conservative Treatment for Bony Healing in Pediatric Lumbar Spondylolysis.	Spine (Phila Pa 1976). 42(12): 716-720, 2017	Original Article
155	Takata Y, Sakai T, Tezuka F, 他	整形外科	Risk Assessment of Lumbar Segmental Artery Injury During Lateral Transposas Approach in the Patients With Lumbar Scoliosis.	Spine (Phila Pa 1976). 41(10): 880-884, 2016	Original Article
156	Sakai T, Tezuka F, Wada K, 他	整形外科	Risk Management for Avoidance of Major Vascular Injury due to Lateral Transposas Approach.	Spine (Phila Pa 1976). 41(5): 450-453, 2016	Original Article
157	Yamashita K, Higashino K, Wada K, 他	整形外科	Radiation exposure to the surgeon and patient during a fluoroscopic procedure: how high is the exposure dose? A cadaveric study.	Spine (Phila Pa 1976). 41(15): 1254-1260, 2016	Original Article
158	Henmi T, Terai T, Abe M, 他	整形外科	Percutaneous endoscopic lumbar discectomy under local anestheslu in elderly patients with combined spinal canal stenosis and herniated nucleus pulposus.	Spine Research.	Original Article
159	Murao K, Nakasuka A, Keyama T, 他	皮膚科	Case of multiple Bowen diseases associated with human papillomavirus type 16 in a patient with atopic dermatitis	J. Dermatol. 2016 Apr; 43: 445-7	Letter
160	Yamamura R, Murao K, Kubo Y	皮膚科	High serum thymus and activation regulated chemokine levels in papuloerythroderma of Orup	J. Dermatol. 2017 Feb; 44: 214-5	Letter
161	Ichiro HASHIMOTO	形成外科	Development of Skin Flaps for Reconstructive Surgery:Random Pattern Flap to,Perforator Flap	The Journal of Medical Investigation 2016;63(3-4):159-62.	Original Article
162	Yutaro Yamashita Hiroaki Nagae Ichiro Hashimoto	形成外科	Ambulatory Surgery for Pilonidal Sinus : Tract Excision and Open Treatment Followed by At-Home Irrigation	The Journal of Medical Investigation 2016;63(3-4):216-8.	Case report
163	Yutaro Yamashita Hiroaki Nagae Ryosuke Yamato 他	形成外科	Proximal nail fold flap for digital mucous cyst excision	The Journal of Medical Investigation 2016;63(3-4):278-80.	Case report

164	Keisuke Kashiwagi Yoshiro Abe Soshi Ishida 他	形成外科	Reduction mammoplasty and mastopexy for the contralateral breast after reconstruction surgery following cancer resection: A report of 3 cases.	The Journal of Medical Investigation 2016;63(3-4):281-5.	Case report
165	Feng J, Mineda K, Wu SH, 他	形成外科	An injectable non-cross-linked hyaluronic-acid gel containing therapeutic spheroids of human adipose-derived stem cells	Scientific reports 2017 May 8;7(1):1548.	Original Article
166	Kanayama K, Mineda K, Mashiko T, 他	形成外科	Blood Congestion Can Be Rescued by Hemodilution in a Random-Pattern Skin Flap	Plastic and reconstructive surgery 2017 Feb;139(2):365-374.	Original Article
167	Mizobuchi Y,Nagahiro S	脳神経外科	A Review of Sport-Related Head Injuries	Korean J Neurotrauma12(1)1-5,2016 Apr	Original Article
168	Korai M,Kitazato KT, Tada Y, 他	脳神経外科	Hyperhomocysteinemia induced by excessive methionine intake promotes rupture of cerebral aneurysms in ovariectomized rats	Journal of Neuroinflammation13(1)165,2016 Jun	Original Article
169	Satomi J,Hadeishi H, Yoshida Y,他	脳神経外科	Histopathological findings in brains of patients who died in the acute stage of poor-grade subarachnoid hemorrhage	Neurol Med Chir (Tokyo)56(12)766-770,2016Dec	Original Article
170	Miyamoto T,Kung DK, Kitazato KT, 他	脳神経外科	Site-specific elevation of interleukin-1 $\beta$ and matrix metalloproteinase-9 in the Willis circle by hemodynamic changes is associated with rupture in a novel rat cerebral aneurysm model	J Cereb Blood Flow Metab2017 Aug;37(8):2795-2805	Original Article
171	Morigaki R,Goto S	脳神経外科	A short commentary on globus pallidus internus deep brain stimulation in primary Meige syndrome	J Neurol Neurophysiol7(6)405,2016	Original Article
172	Morigaki R,Mure H, Kaji R, 他	脳神経外科	Therapeutic Perspective on Tardive Syndrome with Special Reference to Deep Brain Stimulation	Frontiers Psychiatry7 207,2016_Dec	Original Article
173	Morigaki R,Goto S	脳神経外科	Putaminal mosaic visualized by tyrosine hydroxylase immunohistochemistry in the human neostriatum	Front Neuroanat5(10)34,2016Apr	Original Article
174	Mure H,David Eidelberg,Goto S	脳神経外科	Brain Network Metabolic Changes in Patients with Parkinsonian Tremors	Neuroimage. 2011 Jan 15; 54(2): 1244-1253	Original Article
175	Azumi M,Matsubara S, Kinoshita K, 他	脳神経外科	Efficacy of Stenting for High Cervical Internal Carotid Artery Dissection Presenting with Cerebral Ischemia: A Report of Three Cases	Journal of Neuroendovascular Therapy10 144-151,2016June	Original Article
176	Yamaguchi I, Satomi J, Yamamoto N, 他	脳神経外科	Coexistence of Quasi-moyamoya Disease and POEMS Syndrome in a Patient with Intracranial Hemorrhage: A Case Report and Literature Review	NMC Case Report Journal4(1)5-9,2017Jan	Original Article
177	Mizobuchi Y, Shouno K, Nakajima K, 他	脳神経外科	Trigeminal neuralgia caused by fibrous bands: case illustration	J Neurosurg 26 1-2,2015Jan	Original Article
178	Tada Y, Korai M,Hashimoto T	脳神経外科	Technical Aspects of Mouse Intracranial Aneurysm Model	Mouse Models of Vascular Diseases235-241 February 2016	Original Article

小計15件

179	Kadota T, Kakuta N, Horikawa YT, 他	麻酔科	Plasma substance P concentrations in patients undergoing general anesthesia: an objective marker associated with postoperative nausea and vomiting.	JA Clinical Reports 2016 June 2:9	Original Article
180	Kinoshita M, Tsutsumi YM, Fukuta K, 他	麻酔科	Isoflurane-induced postconditioning via mitochondrial calcium-activated potassium channels.	J Med Invest 2016 Feb 63(1-2):80-4	Original Article
181	Hamaguchi E, Tsutsumi YM, Kumé K, 他	麻酔科	General anesthesia of a Japanese infant with Barber-Say syndrome: a case report.	JA Clinical Reports 2016 June 2: 11	Case report
182	Naoji Mita, Shinji Kawahito, Tomohiro Soga, 他	麻酔科	Anesthetic management of a patient with unruptured sinus of valsalva aneurysm with right ventricular outflow tract obstruction.	Circulation Journal 2017 Jan. 37(3):195-198 (オンライン)	Case report
183	Naoji Mita, Shinji Kawahito, Tomohiro Soga, 他	麻酔科	Strict blood glucose control by an artificial endocrine pancreas during hepatectomy may prevent postoperative acute kidney injury.	Journal of Artificial Organs 2017 Mar. 20(1):76-83 2017	Original Article
184	Nakataki M, Soravia LM, Schwab S, 他	精神科神経科	Glucocorticoid Administration Improves Aberrant Fear-Processing Networks in Spider Phobia.	Neuropsychopharmacology 2017 Jan 42(2):485-494.	Original Article
185	Kameoka N, Iga J, Tamaru M, 他	精神科神経科	Risk factors for refeeding hypophosphatemia in Japanese inpatients with anorexia nervosa.	Int J Eat Disord 2016 Apr 49(4):402-406.	Original Article
186	Watanabe SY, Numata S, Iga JI, 他	精神科神経科	Gene expression-based biological test for major depressive disorder: an advanced study.	Neuropsychiatr Dis Treat 2017 Feb 21;13:535-541.	Original Article
187	Kubo H, Nakataki M, Sumitani S; 他	精神科神経科	<sup>1</sup> H-magnetic resonance spectroscopy study of glutamate-related abnormality in bipolar disorder.	J Affect Disord 2017 Jan 15;208:139-144.	Original Article
188	Kinoshita M, Numata S, Tajima A, 他	精神科神経科	Effect of Clozapine on DNA Methylation in Peripheral Leukocytes from Patients with Treatment-Resistant Schizophrenia.	Int J Mol Sci 2017 Mar 14;18(3). pii: E632.	Original Article
189	Kinoshita M, Numata S, Tajima A, 他	精神科神経科	Cumulative effect of the plasma total homocysteine-related genetic variants on schizophrenia risk.	Psychiatry Res 2016 Dec 30;246:833-837.	Original Article
190	Umehara H, Numata S, Tajima A, 他	精神科神経科	Calcium Signaling Pathway Is Associated with the Long-Term Clinical Response to Selective Serotonin Reuptake Inhibitors (SSRI) and SSRI with Antipsychotics in Patients with Obsessive-Compulsive Disorder.	PLoS One 2016 Jun 9;11(6):e0157232.	Original Article
191	Umehara H, Numata S, Kinoshita M, 他	精神科神経科	No association between BDNF Val66Met polymorphism and treatment response in obsessive-compulsive disorder in the Japanese population.	Neuropsychiatr Dis Treat 2016 Mar 11;12:611-615.	Original Article
192	Inoshita M, Numata S, Tajima A, 他	精神科神経科	A significant causal association between C-reactive protein levels and schizophrenia.	Sci Rep 2016 May 19;6:26105.	Original Article
193	Takeda T, Sumitani S, Hamatani S, 他	精神科神経科	Prefrontal cortex activation during neuropsychological tasks might predict response to pharmacotherapy in patients with obsessive-compulsive disorder.	Neuropsychiatr Dis Treat 2017 Feb 23;13:577-583.	Original Article

194	Hamatani S, Tomotake M, Takeda T,他	精神科神経科	Impaired social cognition in anorexia nervosa patients.	Neuropsychiatric Disease and Treatment 2016 Oct 5;12:2527-2531.	Original Article
195	Hamatani S, Tomotake M, Takeda T,他	精神科神経科	Influence of cognitive function on quality of life in anorexia nervosa patients.	Psychiatry Clin Neurosci 2017 May 71(5):328-335.	Original Article
196	Mori T, Takahashi Y, Araya N, 他	小児科	Antibodies against peptides of NMDA-type GluR in cerebrospinal fluid of patients with epileptic spasms.	Eur J Paediatr Neurol 20(6):865-873, 2016	Case report
197	Mori T, Imai K, Oboshi T,他	小児科	Usefulness of ketogenic diet in a girl with migrating partial seizures in infancy	Brain Dev 38(6):601-604, 2016	Case report
198	Hayabuchi Y, Ono A, Kagami S	小児科	Pulmonary annular motion velocity assessed using Doppler tissue imaging - Novel echocardiographic evaluation of right ventricular outflow tract function-	Circulation Journal 80: 1687-176, 2016	Original Article
199	Hayabuchi Y, Ono A, Homma Y, 他	小児科	Tricuspid L and L' waves	International Journal of Cardiology 211: 64765 2016	Original Article
200	Hayabuchi Y, Ono A, Homma Y, 他	小児科	Noninvasive assessment of pulmonary arterial capacitance by pulmonary annular motion velocity in children with ventricular septal defect.	Cardiovascular Ultrasound 14:38, 2016	Original Article
201	Sugimoto M, Kamemura N, Nagao M, 他	小児科	Differential response in allergen-specific IgE, IgGs, and IgA levels for predicting outcome of oral immunotherapy.	Pediatr Allergy Immunol. 27: 276-82, 2016	Original Article
202	Kaji T, Maeda K, Hichijo A, 他	産婦人科	Three-dimensional HDlive rendering of fetal perineum in anorectal atresia.	Ultrasound Obstet Gynecol. 2016 Jun;47(6):784-785.	Letter
203	Iwasa T, Matsuzaki T, Tungalagsuvd A, 他	産婦人科	Developmental changes in the hypothalamic mRNA levels of nucleobindin-2 (NUCB2) and their sensitivity to fasting in male and female rats.	Int J Dev Neurosci. 2016 Apr;49:46-49.	Original Article
204	Iwasa T, Matsuzaki T, Tungalagsuvd A, 他	産婦人科	Effects of chronic DHEA treatment on central and peripheral reproductive parameters, the onset of vaginal opening and the estrous cycle in female rats.	Gynecol Endocrinol. 2016 Sep;32(9):752-755.	Original Article
205	Iwasa T, Matsuzaki T, Matsui S, 他	産婦人科	The sensitivity of adipose tissue visfatin mRNA expression to lipopolysaccharide-induced endotoxemia is increased by ovariectomy in female rats.	Int Immunopharmacol. 2016 Jun;35:243-247.	Original Article
206	Iwasa T, Matsuzaki T, Tungalagsuvd A,他	産婦人科	Effects of chronic testosterone administration on body weight and food intake differ among pre-pubertal, gonadal-intact, and ovariectomized female rats.	Behav Brain Res. 2016 Aug 1;309:35-43.	Original Article
207	Matsui S, Yasui T, Kasai K, 他	産婦人科	Changes of liver enzymes and triglyceride during the menopausal transition in Japanese women.	J Obstet Gynaecol. 2016 Aug;36(6):806-811.	Original Article
208	Iwasa T, Matsuzaki T, Tungalagsuvd A, 他	産婦人科	Developmental changes in the hypothalamic mRNA expression levels of PACAP and its receptor PAC1 and their sensitivity to fasting in male and female rats.	Int J Dev Neurosci. 2016 Aug;52:33-37.	Original Article

小計15件

209	Abe A, Kuwahara A, Iwasa T, 他	産婦人科	A survey on fertility management in young women of reproductive age treated with chemotherapy.	Int J Clin Oncol. 2016 Dec;21(6):1183-1190.	Original Article
210	Iwasa T, Matsuzaki T, Yano K, 他	産婦人科	Developmental changes in the hypothalamic mRNA expression levels of brain-derived neurotrophic factor and serum leptin levels: Their responses to fasting in male and female rats.	Int J Dev Neurosci. 2016 Nov;54:1-5.	Original Article
211	Matsuzaki T, Tungalagsuvd A, Iwasa T, 他	産婦人科	Kisspeptin mRNA expression is increased in the posterior hypothalamus in the rat model of polycystic ovary syndrome.	Endocr J. 2017 Jan 30;64(1):7-14.	Original Article
212	Kaji T, Hayabuchi Y, Maeda K, 他	産婦人科	Prenatal assessment of coronary artery anatomy using color Doppler in cases of D-transposition of the great arteries: Case reports.	J Obstet Gynaecol Res. 2017 Feb;43(2):397-402.	Case report
213	Ayaka Takahashi, Hideki Otsuka, Masafumi Harada	放射線科	Multimodal Cardiovascular Imaging of Cardiac Tumors	Annals of Nuclear Cardiology. 2016 Aug.; 2(1): 61-7	Review
214	Takeuchi M, Matsuzaki K, Harada M.	放射線科	Carcinosarcoma of the uterus: MRI findings including diffusion-weighted imaging and MR spectroscopy.	Acta Radiologica, 2016 Oct;57(10):1277-84.	Original Article
215	Takeuchi M, Matsuzaki K, Bando Y, 他	放射線科	A case of polypoid endometriosis with malignant transformation.	Abdominal Radiology, 2016 Sep;41(9):1699-702	Review
216	Mayumi Takeuchi, Kenji Matsuzaki, Masafumi Harada	放射線科	Computed diffusion-weighted imaging for differentiating decidualized endometrioma from ovarian cancer	European Journal of Radiology, 2016 May;85(5):1016-9	Original Article
217	Yoichi Otomi, Takayoshi Shinya, Hideki Otsuka, 他	放射線科	Increased (18)F-fluorodeoxyglucose accumulation in bilateral adrenal glands of the patients suffering from vasovagal reaction due to blood vessel puncture.	Annals of nuclear medicine, 2016 Aug;30(7):501-5	Original Article
218	Kinoshita, Shoichiro Takao, Katsuya Takechi, 他	放射線科	Percutaneous drainage of psoas and iliopsoas muscle abscesses with a one-step technique under real-time computed tomography fluoroscopic guidance	The Journal of Medical Investigation, 2016 August;63(3-4):323-7.	Original Article
219	Khashbat, Takashi Abe, Mungunbagana Ganbold, 他	放射線科	Correlation of 3D Arterial Spin Labeling and Multi-Parametric Dynamic Susceptibility Contrast Perfusion MRI in Brain Tumors	The Journal of Medical Investigation, 2016 August;63(3-4) 175-181	Original Article
220	Kinoshita M, Takechi K, Iwamoto S, 他	放射線科	The usefulness of cone-beam computed tomography during chemoembolization of hepatocellular carcinomas fed exclusively by the cystic artery.	Japanese Journal of Radiology 2016 Nov;34(11):747-753.	Others
221	Abe T, Kawai T, Fujita K, 他	放射線科	MR Spectroscopy in Patients with Hereditary Diffuse Leukoencephalopathy with Spheroids and Asymptomatic Carriers of Colony-stimulating Factor 1 Receptor Mutation.	Magnetic resonance in medical sciences, 2016 Dec (オンライン).	Original Article
222	Mungunbagana Ganbold, Masafumi Harada, Delgerdalai Khashbat, 他	放射線科	Differences in High-Intensity Signal Volume Between Arterial Spin Labeling and Contrast-Enhanced T1-Weighted Imaging May Be Useful For Differentiating Glioblastoma From Brain Metastasis	The Journal of Medical Investigation, 2017 February;64(1.2):58-63.	Original Article
223	Yoichi Otomi, Takayoshi Shinya, Naoto Uyama, 他	放射線科	The physiological accumulation of FDG in the muscles in relation to the side of intravenous administration	Japanese Journal of Radiology, 2017 February;35:53-60	Original Article

224	Nagai K, Harada M, Yokota N, 他	検査部	Evaluation of vascular quality of life questionnaire in dialysis patients with peripheral arterial disease treated by low-density lipoprotein apheresis.	Renal Replacement Therapy, 2016 Aug; 2: 37 (オンライン)	Original Article
225	Nagai K, Tsuchida K, Hirose D, 他	検査部	The effect of albumin leakage in hemodialysis patients on redox status of serum albumin.	Journal of Artificial Organs, 2016 Sep; 19(3): 310-4	Original Article
226	Nagai K, Doi T	検査部	CIN85: Implications for the Development of Proteinuria in Diabetic Nephropathy.	Diabetes, 2016 Dec; 65(12): 3532-4	Original Article
227	Onodera M, Okuda N, Izawa M, 他	救急集中治療部	Delirium during Noninvasive Positive Pressure Ventilation: A Prospective Observational Study	Pulmonary & Respiratory Medicine	Original Article
228	Nishimura M	救急集中治療部	High-Flow Nasal Cannula Oxygen Therapy in Adults: Physiological Benefits, Indication, Clinical Benefits, and Adverse Effects.	Respir Care	Original Article
229	Chikata Y, Unai K, Izawa M, 他	救急集中治療部	Inspiratory Tube Condensation During High-Flow Nasal Cannula Therapy: A Bench Study.	Respir Care	Original Article
230	Itagaki T, Gubin TA, Sayal P, 他	救急集中治療部	The effectiveness of nasal mask vs face mask ventilation in anesthetized, awake pediatric subjects over 2 years of age: a randomized controlled trial.	Paediatr Anaesth	Original Article
231	Chikata Y, Onodera M, Oto J, 他	救急集中治療部	FIO2 in an Adult Model Simulating High-Flow Nasal Cannula Therapy.	Respir Care	Original Article
232	Sato N, Taniguchi T, Goda Y, 他	リハビリテーション部	Proteomic Analysis of Human Tendon and Ligament: Solubilization and Analysis of Insoluble Extracellular Matrix in Connective Tissues.	J Proteome Res. 2016 Dec 2;15(12):4709-4721	Original Article
233	Goto T, Sakai T, Enishi T, 他	リハビリテーション部	Changes of posture and muscle activities in the trunk and legs during walking in patients with lumbar spinal stenosis after decompression surgery. A preliminary report.	Gait Posture. 2017 Jan;51:149-152.	Original Article
234	Okada N, Fushitani S, Azuma M, 他	薬剤部	Clinical evaluation of pharmacist interventions in patients treated with anti-methicillin-resistant Staphylococcus aureus agents in a hematological ward.	Biol Pharm Bull. 2016 Feb;39(2):295-300	Original Article
235	Zamami Y, Koyama T, Imai T, 他	薬剤部	Pharmaceutical education focused on pharmacotherapy in emergency medical care.	Yakugaku Zasshi. 2016 July;136(7):987-91	Review
236	Okada N, Hanafusa T, Abe S, 他	薬剤部	Evaluation of the risk factors associated with high-dose chemotherapy-induced dysgeusia in patients undergoing autologous hematopoietic stem cell transplantation: Possible usefulness of cryotherapy in dysgeusia prevention.	Support Care Cancer. 2016 Sep;24(9):3979-85	Original Article
237	Zamami Y, Imai T, Imanishi M, 他	薬剤部	Evaluation of a Pharmaceutical Life-saving Skills Training Program using the Customer Satisfaction Analysis	Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences, 2016 Sep 7;2(1):21	Original Article
238	Imanishi M, Chiba Y, Tomita N, 他	薬剤部	Tomita S Hypoxia-inducible factor-1 $\alpha$ in smooth muscle cells protects against aortic aneurysms Arteriosclerosis	Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2016 Nov;36(11):2158-2162	Original Article

小計15件

239	Oto J, Su Z, Duggan M, 他	ER・災害医療診療部	Efficacy of coaxial ventilation with a novel endotracheal catheter equipped with a functional cuff: A swine model study.	Eur J Anaesthesiol	Original Article
240	Kuroda M, Tominaga A, Nakagawa K, 他	栄養部	DNA Methylation Suppresses Leptin Gene in 3T3-L1 Adipocytes.	PLoS One. 2016 Aug 5;11(8):e0160532.	Original Article
241	Taketani Y, Koiwa F, Yokoyama K	栄養部	Management of phosphorus load in CKD patients.	Clin Exp Nephrol. 2017 Mar;21:27-36	Review
242	Adachi C, Yamanaka-Okumura H, Katayama T, 他	栄養部	Single vegetable meal content equivalence as an alternative to fat for satiety: a randomised trial in Japanese women.	Asia Pac J Clin Nutr. 2016;(3):478-86.	Original Article
243	Yasui S, Shirai Y, Tanimura M, 他	栄養部	Prevalence of protein-energy wasting (PEW) and evaluation of diagnostic criteria in Japanese maintenance hemodialysis patients. nce of protein-energy wasting (PEW) and evaluation of diagnostic criteria in Japanese maintenance hemodialysis patients.	Asia Pac J Clin Nutr. 2016;25(2):292-9.	Original Article
244	Satoru Shindo, Yoshitaka Hosokawa, Ikuko Hosokawa, 他	むし歯科	Shikonin Inhibits Inflammatory Cytokine Production in Human Periodontal Ligament Cells	Inflammation	Original Article
245	Ikuko Hosokawa, Yoshitaka Hosokawa, Satoru Shindo, 他	むし歯科	Melatonin Inhibits CXCL10 and MMP-1 Production in IL-1beta-Stimulated Human Periodontal Ligament Cells	Inflammation	Original Article
246	Yuki Hosokawa, Kouji Hirao, Hiromichi Yumoto, 他	むし歯科	Functional Roles of NOD1 in Odontoblasts on Dental Pulp Innate Immunity	BioMed Research International	Original Article
247	Yoshitaka Hosokawa, Ikuko Hosokawa, Satoru Shindo, 他	むし歯科	Alkannin inhibits CCL3 and CCL5 production in human periodontal ligament cells	Cell Biology International	Original Article
248	Yoshitaka Hosokawa, Ikuko Hosokawa, Satoru Shindo, 他	むし歯科	Gomisin N Decreases Inflammatory Cytokine Production in Human Periodontal Ligament Cells	Inflammation	Original Article
249	Sakamoto E, Mihara C, Ikuta T, 他	歯周病科	Inhibitory effects of advanced glycation end-products and Purphyromonas gingivalis lipopolysaccharide on the expression of osteoblastic markers of rat bone marrow cells in culture.	J Periodontal Res. 51(3):313-320, 2016.	Original Article
250	Higaki N, Goto T, Ichikawa T.	そしやく科	Periodontal tactile input activates the prefrontal cortex.	Sci Rep. 2016 Nov 11;6:36893	Original Article
251	Tsuyoshi Honda, Takuro Babà, Keiko Fujimoto, 他	そしやく科	Characterization of Swallowing Sound: Preliminary Investigation of Normal Subjects.	PLoS One.2016 Dec 13;11(12):e0168187 (オンライン)	Original Article
252	Matsuka Y, Hagiwara Y, Tamaki K, 他	かみあわせ補綴科	Reliability and validity of the patient disability-oriented diagnostic nomenclature system for prosthetic dentistry.	Journal of Prosthodontic Research, 2017 Jan; 61(1): 20-33	Original Article
253	Okura K, Shigemoto S, Suzuki Y, 他	かみあわせ補綴科	Mandibular movement during sleep bruxism associated with current tooth attrition.	Journal of Prosthodontic Research, 2017 Jan; 61(1): 87-95	Case report.

254	Hosoki M, Nishigawa K, Miyamoto Y, 他	かみあわせ補綴科	Allergic contact dermatitis caused by titanium screws and dental implants.	Journal of Prosthodontic Research, 2016 Jul; 60(3): 213-9	Original Article
255	Keisuke Nishigawa, Rika Hayama, Yosizo Matsuka	かみあわせ補綴科	Complications causing patients to discontinue using oral appliances for treatment of obstructive sleep apnea	Journal of Prosthodontic Research, 2017 Apr; 61(2): 133-138	Original Article
256	Keisuke Nishigawa, Katsuhiro Omoto, Rika Hayama,他	かみあわせ補綴科	Comparison between flipped classroom and teambased learning in fixed prosthodontic education	Journal of Prosthodontic Research, 2017 Apr; 61(2): 217-222	Original Article
257	Midori Yoshida, Eiichi Honda, Oyunbat Dashpuntsag, 他	歯科放射線科	Availability of Japanese Government's supplemental texts on radiation reflecting the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident for elementary and secondary education from dental students' understanding.	Journal of Environmental Radioactivity:Vol 155-156, 7-14, 2016	Original Article
258	Momota Y, Takano H, et al.	口腔内科	Significance of Time-Domain Measurements of Heart Rate Variability in Burning Mouth Syndrome.	IOSR J Dent Med Sci.2016 Jan (オンライン)	Original Article
259	N.Takamaru,H.Nagai,G.Ohe,他	口腔外科	Measurement of the zygomatic bone and pilot hole technique for safer insertion of zygomatic implants	Int.J.Oral Maxillofac.Surg 2016;45:104-109	Original Article
260	Kanae Hara.Kenji FujisawaI,* Hirokazu Nagai,他	口腔外科	Fabrication and Physical Evaluation of Gelatin-Coated Carbonate Apatite Foam	Materials,9(9)711;doi:10.3390/ma9090711 2016.	Original Article
261	K.Kudoh,T.Kudoh, K.Tsuru,他	口腔外科	A case of tophaceous pseudogout of the temporomandibular joint extending to the base of the skull	International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery Published online:September 15,2016	Original Article
262	Akira Takahashi,Chieko Sugawara,Takaharu Kudoh,他	口腔外科	Prevalence and imaging characteristics of palatine tonsilloliths evaluated on 2244 pairs of panoramic radiographs and CT images	Clin Oral Investigations 21(1):85-91 2017 Feb	Original Article
263	Mita N, Kawahito S, Soga T,他	歯科麻酔科	Strict blood glucose control by an artificial endocrine pancreas during hepatectomy may prevent postoperative acute kidney injury	Journal of Artificial Organs, 2016 August; 20(1):76-83	Original Article
264	Izawa T, Mori H, Shinohara T,他	矯正歯科	Rebamipide attenuates mandibular condylar degeneration in a murine model of TMJ-OA by mediating a chondroprotective effect and by downregulating RANKL-mediated osteoclastogenesis.	PLoS ONE 11(4): e0154107, April.(オンライン)	Original Article
265	Tanaka E, Shiota C, Sato M, 他	矯正歯科	A case of unilateral mandibular condylar osteochondroma treated with ipsilateral condylectomy and contralateral ramus osteotomy.	American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics 149(5): 740-750, May.	Case report
266	Kuroda S, Hichijo N, Sato M, 他	矯正歯科	Long-term stability of maxillary group distalization with interradicular miniscrews in a patient with a Class II Division 2 malocclusion.	American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics 149(6): 912-922, June.	Case report
267	Mitsui SN, Yasue A, Kuroda S, 他	矯正歯科	Long-term stability of conservative orthodontic treatment in a patient with temporomandibular disorder.	Journal of Orthodontic Science 5(3): 104-108, July-Sept.	Case report
268	Mansjur KQ, Kuroda S, Izawa T, 他	矯正歯科	The effectiveness of human parathyroid hormone and low-intensity pulsed ultrasound treatments for the healing of fractures in osteoporotic bones.	Annals of Biomedical Engineering 44(8):2480-2488, Aug.	Original Article



269	Amachi R, Hiasa M, Teramachi J, 他	矯正歯科	A vicious cycle between acid sensing and survival signaling while epigenetically repressing genes in myeloma cells.	Oncotarget doi: 10.18632/oncotarget.11927, Sept.(オンライン)	Original Article
270	Shinohara T, Izawa T, Mino-Oka A, 他	矯正歯科	Hyaluronan metabolism in overloaded temporomandibular joint.	Journal of Oral Rehabilitation 43(12): 921-928, Dec.	Original Article
271	Izawa T, Arakaki R, Mori H, 他	矯正歯科	The nuclear receptor AhR controls bone homeostasis by regulating osteoclast differentiation via the RANK/c-Fos signaling axis.	Journal of Immunology 197(12):4639-4650, Dec.	Original Article
272	Mitsui SN, Yasue A, Masuda K, 他	矯正歯科	Novel human mutation and CRISPR/Cas genome-edited mice reveal the importance of C-terminal domain of MSX1 in tooth and palate development.	Scientific Reports 6:38398 doi: 10.1038/srep38398, Dec.(オンライン)	Original Article
273	Mino-Oka A, Izawa T, Shinohara T, 他	矯正歯科	The role of hypoxia-induced transcripton factor-1alpha on the development of temporomandibular joint osteoarthritis.	Archives of Oral Biology 73(1): 274-281, Jan.	Original Article
274	Yasue A, Kono H, Habuta M, 他	矯正歯科	Relationship between somatic mosaicism of Pax6 mutation and variable developmental eye abnormalities?an analysis of CRISPR genome-edited mouse embryos.	Scientific Reports 7(1):53. Doi: 10.1038/s41598-017-00088-w, March.(オンライン)	Original Article
275	Kuroda S, Inoue M, Kyung H-M, 他	矯正歯科	Stress distribution in obliquely inserted orthodontic miniscrews evaluated by three-dimensional finite-element analysis.	International Journal of Oral Maxillofacial Implants 32(2):344-349, March/April.	Original Article

計275件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

## (2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Torii Y, Kusunose K, Yamada H, 他	循環器内科(超音波センター)	Comparison of Tricuspid Annular Plane Systolic Excursion in Patients with Atrial Fibrillation vs Sinus Rhythm	Am J Cardiol.2016 Jan;117:226-32	Original Article
2	Niki T, Wakatsuki T, Yamaguchi K,他	循環器内科	Effects of the Addition of Eicosapentaenoic Acid to Strong Statin Therapy on Inflammatory Cytokines and Coronary Plaque Components Assessed by Integrated Backscatter Intravascular Ultrasound	Circ J.2016;80:450-60	Original Article
3	Takashima A, Yagi S, Yamaguchi K,他	循環器内科	Vegetation in the Coronary Sinus That Concealed the Presence of a Coronary Arteriovenous Fistula in a Patient with Infectious Endocarditis	Int J Cardiol.2016Mar;207:266-8	Original Article
4	Torii Y, Yamada H, Matsukuma S, 他	循環器内科(超音波センター)	Left Ventricular Lipomatous Hamartoma Mimicking a Calcified Amorphous Tumor	Circulation.2016Feb;133:408-10	Original Article
5	Hayakawa Y, Kawada M, Nishikawa H, 他	循環器内科	Report on the Use of Nonclinical Studies in the Regulatory Evaluation of Oncology Drugs	Cancer Sci.2016Feb;107:189-202	Original Article
6	Shimamura M, Nakagami H, Sata M, 他	循環器内科	A Model of Stroke and Vascular Injury in the Brain	Mouse Models of Vascular Diseases.2016;263-274	Original Article
7	Salim HM, Fukuda D, Higashikuni Y, 他	循環器内科	Dipeptidyl Peptidase-4 Inhibitor, Linagliptin, Ameliorates Endothelial Dysfunction and Atherogenesis in Normoglycemic Apolipoprotein-E Deficient Mice	Vascul Pharmacol.2016Apr;79:16-23	Original Article
8	Nishimoto S, Fukuda D, Higashikuni Y, 他	循環器内科	Obesity-Induced DNA Released from Adipocytes Stimulates Chronic Adipose Tissue Inflammation and Insulin Resistance	Sci Adv.2016Mar;2:1501332	Original Article
9	Tanaka A, Inoue T, Kitakaze M,他	循環器内科	Rationale and Design of a Randomized Trial to Test the Safety and Non-Inferiority of Canagliflozin in Patients with Diabetes with Chronic Heart Failure: The CANDLE Trial	Cardiovasc Diabetol.2016Apr;15:57	Original Article
10	Oyama J, Tanaka A, Sato Y, 他	循環器内科	Rationale and Design of a Multicenter Randomized Study for Evaluating Vascular Function under Uric Acid control Using the Xanthine Oxidase Inhibitor, Febuxostat: The PRIZE Study	Cardiovasc Diabetol.2016Jun;15:87	Original Article
11	Oyama J, Murohara T, Kitakaze M,他	循環器内科	The Effect of Sitagliptin on Carotid Artery Atherosclerosis in Type 2 Diabetes: The PROLOGUE Randomized Controlled Trial	PLoS Med.2016 Jun;13:1002051	Original Article
12	Kadota M, Ise T, Yagi S, 他	循環器内科	Response Prediction and Influence of Tolvaptan in Chronic Heart Failure Patients Considering the Interaction of the Renin-Angiotensin-Aldosterone System and Arginine Vasopressin	Int Heart J.2016 Jul;57:461-5	Original Article
13	Ueda T, Nakata Y, Yamasaki N, 他	循環器内科	ALKR1275Q Perturbs Extracellular Matrix, Enhances Cell Invasion, and Leads to the Development of Neuroblastoma in Cooperation with MYCN	Oncogene.2016 Aug;35:4447-58	Original Article

小計13件

14	Maruhashi T, Higashi Y, Kihara Y, 他	循環器内科	Long-Term Effect of Sitagliptin on Endothelial Function in Type 2 Diabetics: A Sub-Analysis of the PROLOGUE Study	Cardiovasc Diabetol.2016 Sep;15:134	Original Article
15	Tanaka A, Murohara T, Taguchi I,他	循環器内科	Rationale and Design of a Multicenter Randomized Controlled Study to Evaluate the Preventive Effect of Ipragliflozin on Carotid Atherosclerosis: The PROTECT Study	Cardiovasc Diabetol.2016 Sep;15:133	Original Article
16	Yang ZH, Bando M, Sakurai T, 他	循環器内科	Long-Chain Monounsaturated Fatty Acid-Rich Fish Oil Attenuates the Development of Atherosclerosis in Mouse Models	Mol Nutr Food Res.2016 Oct ;60:2208-2218	Original Article
17	Takashima A, Fukuda D, Tanaka K, 他	循環器内科	Combination of n-3 Polyunsaturated Fatty Acids Reduces Atherogenesis in Apolipoprotein E-deficient Mice by Inhibiting Macrophage Activation	Atherosclerosis.2016 ov;254:142-150	Original Article
18	Takashima A, Yagi S, Yamaguchi K, 他	循環器内科	Purulent Pericarditis Accompanying Pericardial Abscess Induced by Nocardia in an Immunocompromised Patient	Circ J.25016 Oct;80:2409-2411	Original Article
19	Salim HM, Fukuda D, Yagi S, 他	循環器内科	Glycemic Control with Ipragliflozin, a Novel Selective SGLT2 Inhibitor, Ameliorated Endothelial Dysfunction in Streptozotocin-Induced Diabetic Mouse	Front Cardiovasc Med.2016 Oct;3:43	Original Article
20	Tomiyama H, Miwa T, Kan K, 他	循環器内科	Impact of Glycemic Control with Sitagliptin on the 2-Year Progression of Arterial Stiffness: A Sub-Analysis of the PROLOGUE Study	Cardiovasc Diabetol.2016 Nov;15:150	Original Article
21	Sai K, Kajinami K, Akao H, 他	循環器内科	A Possible Role for HLA-DRB1*04:06 in Statin-Related Myopathy in Japanese Patients	Drug Metab Pharmacokinet.2016 Dec;31:467-470	Original Article
22	Lee HJ, Hanibuchi M, Kim SJ,他	呼吸器・膠原病内科	Treatment of experimental human breast cancer and lung cancer brain metastases in mice by mactentan, a dual antagonist of endothelin receptors, combined with paclitaxel.	Neuro Oncol. 2016 Apr; 18: 486-496	Original Article
23	Numasaki M, Tsukamoto H, Tomioka Y, 他	呼吸器・膠原病内科	A heterodimeric cytokine, consisting of IL-17A and IL-17F, promotes migration and capillary-like tube formation of human vascular endothelial cells	Tohoku J Exp Med. 2016 1; 240: 47-56	Original Article
24	Hasegawa K, Tagawa M, Takagi K, 他	呼吸器・膠原病内科	Anti-tumor immunity elicited by direct intratumoral administration of a recombinant adenovirus expressing either IL-28A/IFN-lambda2 or IL-29/IFN-lambda1.	Cancer Gene Ther. 2016 Aug; 23: 266-277	Original Article
25	Kaneko MK, Nakamura T, Honma R, 他	呼吸器・膠原病内科	Development and characterization of anti-glycopeptide monoclonal antibodies against human podoplanin using glycan-deficient cell lines generated by CRISPR/Cas9 and TALEN.?	Cancer Med. 2017 Feb; 6: 382-396	Original Article
26	Oyama Y, Enomoto N, Suzuki Y, 他	呼吸器・膠原病内科	Evaluation of urinary desmosines as a noninvasive diagnostic biomarker in patients with idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis (PPFE).	Respir Med. 2017 Feb; 123: 63-70	Original Article
27	Kaneko MK, Abe S, Ogasawara S, 他	呼吸器・膠原病内科	Chimeric Anti-Human Podoplanin Antibody NZ-12 of Lambda Light Chain Exerts Higher Antibody-Dependent Cellular Cytotoxicity and Complement-Dependent Cytotoxicity Compared with NZ-8 of Kappa Light Chain.	Monoclon Antib Immunodiagn Immunother. 2017 Jan; 36: 25-29	Original Article
28	Kato Y, Kunita A, Fukayama M, 他	呼吸器・膠原病内科	Antiglycopeptide Mouse Monoclonal Antibody LpMab-21 Exerts Antitumor Activity Against Human Podoplanin Through Antibody-Dependent Cellular Cytotoxicity and Complement-Dependent Cytotoxicity.	Monoclon Antib Immunodiagn Immunother. 2017 Jan; 36: 20-24	Original Article

29	Yamazaki K, Nagase M, Tamagawa H, 他	消化器内科	Randomized phase III study of bevacizumab plus FOLFIRI and bevacizumab plus mFOLFOX6 as first-line treatment for patients with metastatic colorectal cancer (WJOG4407G).	Ann Oncol. 2016 Aug; 27(8): 1539-1546	Original Article
30	Kubo T, Kawano Y, Himuro N, 他	消化器内科	BAK is a predictive and prognostic biomarker for the therapeutic effect of docetaxel treatment in patients with advanced gastric cancer.	Gastric Cancer. 2016 Jul;19(3):827-838.	Original Article
31	Araki M, Matsubara T, Abe H, 他	腎臓内科	Conditional Deletion of Smnd1 Ameliorates Glomerular Injury in Progressive Glomerulonephritis.	Scientific Reports, 2016 Aug; 6(1): 31216 (オンライン)	Original Article
32	J Oyama, T Murohara, M Kitakaze, 他	内分泌・代謝内科	The effect of sitagliptin on carotid artery atherosclerosis in type 2 diabetes.	PLoS Med. 2016 Jun (オンライン);13(6):e1002051	Original Article
33	King AB, A Kuroda, M Matsuhisa, 他	内分泌・代謝内科	A review of insulin-dosing formulas for continuous subcutaneous insulin infusion (CS II) for adults with type 1 diabetes.	Curr Diab Rep. 2016 Sep;16(9):83	Review
34	A Tanaka, T Murohara, I Taguchi, 他	内分泌・代謝内科	Rationale and design of a multicenter randomized controlled study to evaluate the preventive effect iprughlozin on carotid atherosclerosis.	Cardiovasc Diabetol. 2016 Sep 13;15(1):133	Original Article
35	S Osawa, N Katakami, A Kuroda, 他	内分泌・代謝内科	Skin autofluorescence is associated with early-stage atherosclerosis in patients with type 1 diabetes.	J Atheroscler Thromb. 2017 Mar 1;24(3):312-326	Original Article
36	H Tomiyama, T Miwa, K Kan, 他	内分泌・代謝内科	Impact of glycemic control with sitagliptin on the 2-year progression of arterial stiffness: a subanalysis of the PROLOGUE study.	Cardiovascular Diabetology. 15(1):150, 2016	Original Article
37	Okazaki J, Muguruma N, Kitamura N, 他	内分泌・代謝内科	Paraneoplastic hypocalcemia developed in gastric cancer accompanied by osteoblastic metastasis.	Intern Med. 2017;56(11):1345-1349.	Original Article
38	Yoshimoto S, Nagai K, Shibata E, 他	内分泌・代謝内科	Influential factors on serum albumin concentration in hospitalized chronic kidney disease patients.	J Med Invest. 2017;64(1.2):146-152	Original Article
39	Miyake M, Nomura A, Ogura A, 他	内分泌・代謝内科	Skeletal muscle-specific eukaryotic translation initiation factor 2 $\alpha$ phosphorylation controls amino acid metabolism and fibroblast growth factor 21-mediated non-cell-autonomous energy metabolism.	FASEB J. 2016 Feb;30(2):798-812	Original Article
40	Teramachi J, Hiasa M, Oda A, 他	血液内科	Pim-2 is a critical target for treatment of osteoclastogenesis enhanced in myeloma.	Br J Haematol. 2016 Oct 17. (オンライン)	Letter
41	Amachi R, Hiasa M, Teramachi J, 他	血液内科	A vicious cycle between acid sensing and survival signaling in myeloma cells: acid-induced epigenetic alteration.	Oncotarget. 7(43):70447-70461, 2016. (オンライン)	Original Article
42	Shimazaki C, Fuchida S; Suzuki K, 他	血液内科	Phase 1 study of bortezomib in combination with melphalan and dexamethasone in Japanese patients with relapsed AL amyloidosis.	Int J Hematol. 2016 Jan;103(1):79-85.	Original Article
43	Ozaki S, Hata H, Abe M, 他	血液内科	Reduced frequency treatment with bortezomib plus dexamethasone for elderly patients with relapsed and/or refractory multiple myeloma: a phase 2 study of the Japanese Myeloma Study Group (JMSG-0902).	Ann Hematol. 2016 May;95(6):921-929.	Original Article

小計15件

44	Banzrai C, Nodera H, Okada R, 他	神経内科	Modification of multiple ion channel functions in vivo by pharmacological inhibition: observation by threshold tracking and modeling.	J Med Invest. 2017;64(1.2):30-38.	original article
45	Dressler D, Bhidayasiri R, Bohlega S, 他	神経内科	Botulinum toxin therapy for treatment of spasticity in multiple sclerosis: review and recommendations of the IAB-Interdisciplinary Working Group for Movement Disorders task force.	J Neurol. 2017 Jan;264(1):112-120.	review
46	Morigaki R, Mure H, Kaji R, 他	神経内科	Therapeutic Perspective on Tardive Syndrome with Special Reference to Deep Brain Stimulation.	Front Psychiatry. 2016 Dec 26;7:207.	original article
47	Abe T, Kawarai T, Fujita K, 他	神経内科	MR Spectroscopy in Patients with Hereditary Diffuse Leukoencephalopathy with Spheroids and Asymptomatic Carriers of Colony-stimulating Factor 1 Receptor Mutation.	Magn Reson Med Sci. 2016 Dec 26. オンライン	original article
48	Suzuki N, Mori-Yoshimura M, Yamashita S, 他	神経内科	Multicenter questionnaire survey for sporadic inclusion body myositis in Japan.	Orphanet J Rare Dis. 2016 Nov 8;11(1):146.	original article
49	Hisashi S, Fukumitsu R, Ishida M, 他	神経内科	Dysphagia in Parkinson's disease.	Rinsho Shinkeigaku. 2016 Aug 31;56(8):550-4.	original article
50	Watanabe H, Atsuta N, Hirakawa A, 他	神経内科	A rapid functional decline type of amyotrophic lateral sclerosis is linked to low expression of TTN.	J Neurol Neurosurg Psychiatry.	original article
51	Matsumoto S, Murakami N, Koizumi H, 他	神経内科	Edrophonium Challenge Test for Blepharospasm.	Front Neurosci 2016 Jun 6;10:226.	original article
52	Yokoi D, Atsuta N, Watanabe H, 他	神経内科	Age of onset differentially influences the progression of regional dysfunction in sporadic amyotrophic lateral sclerosis.	J Neurol. 2016 Jun;263(6):1129-36.	original article
53	Takashima A, Yagi S, Yamaguchi K, 他	心臓血管外科	Vegetation in the coronary sinus that concealed the presence of a coronary arteriovenous fistula in a patient with infectious endocarditis.	Int J Cardiol. 2016 Mar; 207: 266-8	Case report
54	Nakamura Y, Kawatani Y, Ito Y, 他	心臓血管外科	Pericardial fat flap for mycotic aneurysm of the thoracic aorta.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2016 Jul; 23(1): 176-8	Case report
55	Sugiura T, Tara S, Nakayama H, 他	心臓血管外科	Novel Bioresorbable Vascular Graft With Sponge-Type Scaffold as a Small-Diameter Arterial Graft.	Ann Thorac Surg. 2016 Sep; 102(3): 720-727	Original Article
56	Shimabukuro M, Okawa C, Yamada H, 他	心臓血管外科	The pathophysiological role of oxidized cholesterols in epicardial fat accumulation and cardiac dysfunction: a study in swine fed a high caloric diet with an inhibitor of intestinal cholesterol absorption, ezetimibe.	J Nutr Biochem. 2016 Sep; 35: 66-73	Original Article
57	Nakamura Y, Kawatani Y, Ito Y, 他	心臓血管外科	eReply. A versatile flap based on the internal thoracic pedicle: the thymopericardial fat flap.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2016 Jul; 23(1): 178	Letter
58	Kanematsu M, Morimoto M, Takahashi M, 他	食道・乳腺甲状腺外科	Thirty percent of ductal carcinoma in situ of the breast in Japan is extremely low-grade ER(+)/HER2(-) type without comedo necrosis.	J Med Invest. 2016; 63(3-4):192-8	Original Article

59	Takashima T, Mukai H, Hara F, 他	食道・乳腺甲状腺外科	Taxanes versus S-1 as the first-line chemotherapy for metastatic breast cancer (SELECT BC): an open-label, non-inferiority, randomised phase 3 trial	Lancet Oncol 2016; 17 (1): 90-8	Original Article
60	Nakaya Y, Yuasa M, Atsumi K, 他	食道・乳腺甲状腺外科	Change in body composition assessed by computed tomography in long-term survivors after esophageal cancer surgery.	Integr Food Nutr Metab 2016; 3(3): 324-7	Original Article
61	Nakajima J, Okumura M, Yano M, 他	呼吸器外科	Myasthenia gravis with thymic epithelial tumour: a retrospective analysis of a Japanese database	Eur J Cardiothorac Surg 2016; 49(5) : 1510-15	Original Article
62	Koie T	泌尿器科	Diversity in treatment modalities of Stage II/III urothelial cancer in Japan: sub-analysis of the multi-institutional national database of the Japanese Urological Association.	Japanese Journal of Clinical Oncology.2016 May;46(5):468-74	Original Article
63	Matuda T	泌尿器科	Scientific skill assessment of basic surgical dissection and overall laparoscopic performance	Journal of Endourology.2017 Apr;31(S1):S25-S29	Original Article
64	Takeo Kawai	泌尿器科	Clinical characteristics of testicular germ cell tumors in patients aged 50 years and older.A large-scale study from the Cancer Registration Committee of the Japanese Urological Association	International Journal of Urology.2017 Feb;24(2):124-128	Original Article
65	Kinoshita T, Imaizumi H, Miyamoto H, 他	眼科	Detection of choroidal folds in patients with Vogt-Koyunagi-Harada disease by retro-mode scanning laser ophthalmoscopy	Retin Cases Brief Rep 10:160-164,2016	Original Article
66	Nagasato D, Mitamura Y, Semba K, 他	眼科	Correlation between optic nerve head circulation and visual function before and after anti-VEGF therapy for central retinal vein occlusion: prospective, interventional case series	BMC Ophthalmol 16:36,2016	Original Article
67	Kinoshita T, Imaizumi H, Miyamoto H, 他	眼科	Two-year results of metamorphopsia, visual acuity, and optical coherence tomographic parameters after epiretinal membrane surgery	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 254:1041-1049, 2016	Original Article
68	Sonoda S, Sakamoto T, Kuroiwa N, 他	眼科	Structural changes of inner and outer choroid in central serous chorioretinopathy determined by optical coherence tomography.	PLoS ONE 11:e0157190,2016	Original Article
69	Kinoshita T, Mitamura Y, Mori T, 他	眼科	Changes in choroidal structures in eyes with chronic central serous chorioretinopathy after half-dose photodynamic therapy.	PLoS ONE 11:e0163104,2016	Original Article
70	Nishi T, Ueda T, Mizusawa Y, 他	眼科	Choroidal structure in children with anisohypermetropic amblyopia determined by binarization of optical coherence tomographic images.	PLoS ONE 11(10):e0164672,2016	Original Article
71	Kinoshita T, Mori J, Okuda N, 他	眼科	Effects of exercise on the structure and circulation of choroid in normal eyes.	PLoS ONE 11(12):e0168336,2016	Original Article
72	T. Imai, Y. Takimoto, N. Takeda, 他	耳鼻咽喉科	High-Speed Video-Oculography for Measuring Three-Dimensional Rotation Vectors of Eye Movements in Mice.	PLoS One. 2016 Mar (オンライン)	Original Article
73	M. Hitier, G. Sato, YF. Zhang, 他	耳鼻咽喉科	Anatomy and surgical approach of rat's vestibular sensors and nerves	J. Neurosci Methods 2016 sep; 270: 1-8	Original Article

小計15件

74	H. Mizuguchi ; N. Orimoto , T. Kadota , 他	耳鼻咽喉科	Suplatast tosilate alleviates nasal symptoms through the suppression of nuclear factor of activated T-cells-mediated IL-9 gene expression in toluene-2,4-diisocyanate-sensitized rats.	J Pharmacol Sci. 1016 Mar; 130: 151-158	Original Article
75	R. Tsutsumi, M. Goda, C. Fujimoto, 他	耳鼻咽喉科	Effects of chemotherapy on gene expression of lingual taste receptors in patients with head and neck cancer.	Laryngoscope. 1016 Mar (オンライン)	Original Article
76	H. Mizuguchi, A.K. Das, K. Maeyama, 他	耳鼻咽喉科	Antihistamines suppress upregulation of histidine decarboxylase gene expression with potencies different from their binding affinities for histamine H1 receptor in toluene 2,4-diisocyanate-sensitized rats.	J. Pharmacol. Sci. 2016 Apr; 130: 212-218	Original Article
77	Wada Y, Nishiike S, Kitahara T, 他	耳鼻咽喉科	Effects of repeated snowboard exercise in virtual reality with time lags of visual scene behind body rotation on head stability and subjective slalom run performance in healthy young subjects	Acta Otolaryngol. 2016 Nov; 136: 1121-1124, 2016	Original Article
78	M.C. Shill, H. Mizuguchi, S. Karmakar, 他	耳鼻咽喉科	A novel benzofuran, 4-methoxybenzofuran-5-carboxamide, from Tephrosia purpurea suppressed histamine H1 receptor gene expression through a protein kinase C- $\delta$ -dependent signaling pathway.	Int. Immunopharmacol. 2016 Jun; 30: 18-26	Original Article
79	M. Fukushima, R. Ito, S. Miyaguchi, 他	耳鼻咽喉科	Preceding profound deafness and co-factors promote development of endolymphatic hydrops in preliminary patients with delayed endolymphatic hydrops	Acta Otolaryngol. 2016 Nov; 136: 1304-1308	Original Article
80	Kurosawa D, Murakami E, Ozawa H, 他	整形外科	A diagnostic scoring system for sacroiliac joint pain originating from the posterior ligament.	Pain Med. 18(2): 228-238, 2017	Original Article
81	Takegami K, Hayashi H, Yamada K, 他	整形外科	Entrance surface dose measurements using a small OSL dosimeter with a computed tomography scanner having 320 rows of detectors.	Radiol Phys Technol. 10(1): 49-59, 2016	Original Article
82	Kageji T, Obata F, Oka H, 他	脳神経外科	Drip-and-ship thrombolytic therapy supported by the telestroke system for acute ischemic stroke patients living in medically underserved areas	Neurol Med Chir (Tokyo)56(12)753-758, 2016 Dec	Original Article
83	Yamamoto Y, Okazaki T, Yoda K, 他	脳神経外科	Successful emergency carotid endarterectomy after thrombolysis with intravenous recombinant tissue-type plasminogen activator	The Journal of Medical Investigation 63(3-4)300-304, 2016 Aug	Original Article
84	Uehara T, Minematsu K, Ohara T, 他	脳神経外科	Incidence, predictors, and etiology of subsequent ischemic stroke within one year after transient ischemic attack	International Journal of Stroke 12(1)84-89, 2017 Jan	Original Article
85	Kageji T, Miyamoto T, Kotani Y, 他	脳神経外科	Congenital craniopharyngioma treated by radical surgery: case report and review of the literature	Childs Nerv Syst 33(2)357-362, 2017 Feb	Original Article
86	Tanaka K, Uehara T, Kimura K, 他	脳神経外科	Differences in Clinical Characteristics between Patients with Transient Ischemic Attack Whose Symptoms Do and Do Not Persist on Arrival	J Stroke Cerebrovasc Dis 25(9)2237-2242, 2016	Original Article
87	Junya Aoki, Kazumi Kimura, Naomi Morita, 他	脳神経外科	Tissue type plasminogen activator and edaravone combination therapy	Stroke 48(3) 712-719, 2017 Mar	Original Article
88	Yamamoto N, Satomi J, Yamamoto Y, 他	脳神経外科	Usefulness of 3-Tesla magnetic resonance arterial spin-labeled imaging for diagnosis of cranial dural arteriovenous fistula	J Neurol Sci 372 428-432, 2017 Jan	Original Article

小計15件

89	Bando M, Yamada H, Kusunose K, 他	脳神経外科	Noninvasive quantitative tissue characterization of carotid plaques using color-coded mapping based on ultrasound integrated backscatter	JACC Cardiovasc Imaging9(5)625-627,2016May	Original Article
90	Ogino H, Hanibuchi M, Takizawa H, 他	脳神経外科	Primary pulmonary synovial sarcoma showing a prolonged survival with multimodality therapy	Intern Med55(4)381-387,2016Feb	Original Article
91	Majigsuren M, Abe T, Kageji T, 他	脳神経外科	Comparison of brain tumor contrast-enhancement on T1-CUBE and 3D-SPGR images	Magn Reson Med Sci15 34-40,2016Jun	Original Article
92	Takahashi JC, Funaki T, Houkin K, 他	脳神経外科	Significance of the hemorrhagic site for recurrent bleeding: Prespecified analysis in the Japan adult moyamoya trial	Stroke47 37-43,2016Jan	Original Article
93	Kanematsu M, Kanematsu Y, Hashimoto T	脳神経外科	Mouse Models of Aortic Aneurysm	Mouse Models of Vascular Diseases227-232 February 2016	Original Article
94	Kageji T, Mizobuchi Y, Nakajima K, 他	脳神経外科	Postoperative Hematoma Requiring Recraniotomy in 1149 Consecutive Patients with Intracranial Tumors	Operative Neurosurgery13(3)392-397, 2017Jun	Original Article
95	Tsutsumi R, Kakuta N, Kadota T, 他	麻酔科	Effects of oral carbohydrate with amino acid solution on the metabolic status of patients in the preoperative period: a randomized, prospective clinical trial.	J Anesth 2016 Oct. 30(5):842-9	Original Article
96	Mayu Sebe, Rie Tsutsumi, Sotaro Yamaguchi, 他	麻酔科	The synergistic effects of omega-3 fatty acids against 5-fluorouracil-induced mucosal impairment in mice.	BMC Nutrition 2016 Mar. 2:17(オンライン)	Original Article
97	Kawano H, Ohshita N, Katome K, 他	麻酔科	Effects of a novel method of anesthesia combining propofol and volatile anesthesia on the incidence of postoperative nausea and vomiting in patients undergoing laparoscopic gynecological surgery.	Braz J Anesthesiol 2016 Jan-Feb 66:12-18	Original Article
98	Yoshino Y, Kawabe K, Mori T, 他	精神科神経科	Low methylation rates of dopamine receptor D2 gene promoter sites in Japanese schizophrenia subjects.	World J Biol Psychiatry 2016 Sep 17(6):449-456.	Original Article
99	Saito T, Ikeda M, Hashimoto R, 他	精神科神経科	Transethnic Replication Study to Assess the Association Between Clozapine-Induced Agranulocytosis/Granulocytopenia and Genes at 12p12.2 in a Japanese Population.	Biol Psychiatry 2016 Dec 16:S0006-3223(16)33110-33119.	Original Article
100	Kushima I, Aleksic B, Nakatochi M, 他	精神科神経科	High-resolution copy number variation analysis of schizophrenia in Japan.	Mol Psychiatry 2017 Mar 22(3):430-440.	Original Article
101	Nakazawa T, Kikuchi M, Ishikawa M, 他	精神科神経科	Differential gene expression profiles in neurons generated from lymphoblastoid B-cell line-derived iPS cells from monozygotic twin cases with treatment-resistant schizophrenia and discordant responses to clozapine.	Schizophr Res 2017 Mar 181:75-82.	Original Article
102	Yoshino Y, Kawabe K, Yamazaki K, 他	精神科神経科	Elevated TREM2 mRNA expression in leukocytes in schizophrenia but not major depressive disorder.	J Neural Transm (Vienna) 2016 Jun 123(6):637-641.	Original Article
103	Saito T, Ikeda M, Mushiroda T, 他	精神科神経科	Pharmacogenomic Study of Clozapine-Induced Agranulocytosis/Granulocytopenia in a Japanese Population.	Biol Psychiatry 2016 Oct 15;80(8):636-642.	Original Article

小計15件



104	Soravia LM, Witmer JS, Schwab S, 他	精神科神経科	Prestimulus default mode activity influences depth of processing and recognition in an emotional memory task.	Hum Brain Mapp 2016 Mar 37(3):924-932.	Original Article
105	Soravia LM, Orosz A, Schwab S, 他	精神科神経科	CBT reduces CBF: cognitive-behavioral therapy reduces cerebral blood flow in fear-relevant brain regions in spider phobia.	Brain Behav 2016 Jul 6;6(9):e00510.	Original Article
106	Iga J, Watanabe SY, Numata S, 他	精神科神経科	Association study of polymorphism in the serotonin transporter gene promoter, methylation profiles, and expression in patients with major depressive disorder.	Hum Psychopharmacol 2016 May 31(3):193-199.	Original Article
107	Ito H, Miyagawa M, Ozawa K, 他	精神科神経科	Prioritizing Patient Assessment Data (PAD) Using the Japanese Psychiatric Nursing Assessment Classification System (PsyNACS)?.	Open Journal of Psychiatry 2016 July 6:218-227.	Original Article
108	Nagai T, Urushihara M, Kinoshita Y, 他	小児科	Differential regulation of angiotensin II-induced extracellular regulated kinase-1/2 and -5 in progressive glomerulonephritis.	Nephrology. 21: 950-958, 2016	Original Article
109	Terada T, Mori K, Inoue M, 他	小児科	Mitral annular plane systolic excursion/left ventricular length (MAPSE/L) as a simple index for assessing left ventricular longitudinal function in children.	Echocardiography. Nov;33(11):1703-1709,2016	Original Article
110	Tungalagsuvd A, Matsuzaki T, Iwasa T, 他	産婦人科	The expression of orexigenic and anorexigenic factors in middle-aged female rats that had been subjected to prenatal undernutrition.	Int J Dev Neurosci. 2016 Apr;49:1-5.	Original Article
111	Okita Y, Minakata K, Yasuno S, 他	放射線科	Optimal timing of surgery for active infective endocarditis with cerebral complications: a Japanese multicentre study.	Eur J Cardiothorac Surg. 2016 Aug ;50(2):374-82	Original Article
112	Sako W, Abe T, Izumi Y, 他	放射線科	Fractional anisotropy in the supplementary motor area correlates with disease duration and severity of amyotrophic lateral sclerosis.	Neurological sciences. 2016 Apr;37(4):573-7	Original Article
113	Sako W, Abe T, Izumi Y, 他	放射線科	The ratio of N-acetyl aspartate to glutamate correlates with disease duration of amyotrophic lateral sclerosis.	J Clin Neurosci, 2016 May;27:110-3	Original Article
114	Ogino H, Hanibuchi M, Takizawa H, 他	放射線科	Primary Pulmonary Synovial Sarcoma Showing a Prolonged Survival with Multimodality Therapy.	Internal Medicine, 2016 Feb.;55(4):381-7	Original Article
115	Osaki Y, Fujita K, Abe T, 他	放射線科	Mystery Case: Parkinsonism in a diabetic uremic patient.	Neurology, 2016 May ;86(22):e225-7.	Case report
116	Shimabukuro M, Okawa C, Yamada H, 他	放射線科	The pathophysiological role of oxidized cholesterols in epicardial fat accumulation and cardiac dysfunction: a study in swine fed a high caloric diet with an inhibitor of intestinal cholesterol absorption, ezetimibe.	Journal of Nutritional Biochemistry, 2016 Sep;35:66-73	Original Article
117	Sato T, Hayakawa K, Tomita N, 他	放射線科	A multicenter phase I study of preoperative chemoradiotherapy with S-1 and irinotecan for locally advanced lower rectal cancer (SAMRAI-1).	Radiotherapy and Oncology,2016 Aug; 120(2): 222-227.	Original Articles
118	Yuto Konishi, Yuki Kanazawa, Takatoshi Usuda, 他	放射線科	Simple noise reduction for diffusion weighted images.	Radiological Physics and Technology, 2016July; 9(2): 221-6	Original Article

119	Okita Y, Minakata K, Yasuno S, 他	放射線科	Optimal timing of surgery for active infective endocarditis with cerebral complications: a Japanese multicentre study	Eur J Cardiothorac Surg., 2016 Aug;50(2):374-82	Original Article
120	Hideo Gobara, Yasuaki Arai, Takeshi Kobayashi, 他	放射線科	Percutaneous radiofrequency ablation for patients with malignant lung tumors: a phase II prospective multicenter study (JIVROSG-0702).	Japanese Journal of Radiology, 2016 Aug;34(8):556-63.	Original Article
121	Yuasa Y, Okitsu H, Goto M, 他	放射線科	Three-dimensional CT for preoperative detection of the left gastric artery and left gastric vein in laparoscopy-assisted distal gastrectomy.	Asian J Endosc Surg, 2016 Aug;9(3):179-85	Original Article
122	Yasuhiro Funakoshi, Masafumi Harada, Hideki Otsuka, 他	放射線科	Default mode network abnormalities in children with autism spectrum disorder detected by resting-state functional magnetic resonance imaging	The Journal of Medical Investigation, 2016 August;63(3-4) 204-208	Original Article
123	Goda Y, Sakai T, Harada T, 他	放射線科	Degenerative Changes of the Facet Joints in Adults with Lumbar Spondylosis.	Clin Spine Surg, 2017 Jul;30(6):E738-E742	Original Article
124	Sako W, Abe T, Murakami N, 他	放射線科	Imaging-based differential diagnosis between multiple system atrophy and Parkinson's disease.	J Neurol Sci, 2016 Sep 15;368:104-8	Original Article
125	Honda T, Baba T, Fujimoto K, 他	放射線科	Characterization of Swallowing Sound: Preliminary Investigation of Normal Subjects.	PLoS One, 2016; 11(12): e0168187.	Original Article
126	Nakaya K, Otsuka H, Kondo K, 他	放射線科	Tumor growth-inhibitory effect of an angiotensin-converting enzyme inhibitor (captopril) in a lung cancer xenograft model analyzed using 18F-FDG-PET/CT.	Nucl Med Commun, 2016 Feb;37(2):139-46.	Original Article
127	Tadashi Kondo, Junji Ueno and Shoichiro Takao	放射線科	Medical image diagnosis of lung cancer by deep feedback GMDH-type neural network.	Journal of Robotics Networking and Artificial Life, 2016 March;2(4):252-257	Original Article
128	Tadashi Kondo, Junji Ueno and Shoichiro Takao	放射線科	Medical image analysis of brain X-ray CT images by deep GMDH-type neural network	Journal of Robotics Networking and Artificial Life, 2016 June ;3(1): 17-23	Original Article
129	Qier Meng, Takayuki Kitasaka? Yukitaka Nimura? 他	放射線科	Automatic segmentation of airway tree based on local intensity filter and machine learning technique in 3D chest CT volume	International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery ,2017 Feb;12(2):245-261	Original Article
130	Aoki J, Kimura K, Morita N, 他	放射線科	YAMATO Study (Tissue-Type Plasminogen Activator and Edoxavone Combination Therapy)	Stroke ,48(3):712-719, 2017	Original Article
131	Tadashi Kondo, Sayaka Kondo, Junji Ueno and Shoichiro Takao	放射線科	Medical image diagnosis of kidney regions by deep feedback GMDH-type neural network using principal component-regression analysis	Artificial Life and Robotics , 2017 March ;22(1);1-9	Original Article
132	Hirromichi Ito, Kenji Mori, Masafumi Harada, 他	放射線科	A Proton Magnetic Resonance Spectroscopic Study in Autism Spectrum Disorder Using a 3-Tesla Clinical Magnetic Resonance imaging(MRI)System:The Anterior Cingulate Cortex and the Left Cerebellum	Journal of Child Neurology , 2017 Jul;32(8):731-739	Original Article
133	Phua J, Joynt GM, Nishimura M, 他	救急集中治療部	Withholding and withdrawal of life-sustaining treatments in low-middle-income versus high-income Asian countries and regions.	Intensive Care Med	Original Article

小計15件

134	Arabi YM, Phua J, Koh Y, 他	救急集中治療部	Structure, Organization, and Delivery of Critical Care in Asian ICUs.	Crit Care Med	Original Article
135	Park DW, Egi M, Nishimura M, 他	救急集中治療部	The Association of Fever with Total Mechanical Ventilation Time in Critically Ill Patients.	J Korean Med Sci	Original Article
136	Ikeda Y, Imao M, Satoh A, 他	薬剤部	Iron-induced skeletal muscle atrophy involves an Akt-forkhead box O3-E3 ubiquitin ligase-dependent pathway.	J Trace Elem Med Biol. 2016 May;35:66-76	Original Article
137	Tangsucharit P, Takatori S, Zamami Y, 他	薬剤部	Muscarinic acetylcholine receptor M1 and M3 subtypes mediate acetylcholine-induced endothelium-independent vasodilatation in rat mesenteric arteries.	J Pharmacol Sci. 2016 Jan;130(1):24-32.	Original Article
138	Jin H, Li Z, Takatori S, 他	薬剤部	Vascular responses to compound 48/80 in rat mesenteric vascular beds.	Can J Physiol Pharmacol. 2016 Jun;94(6):620-6	Original Article
139	Murakami M, Katsuragi S, Ohno M, 他	薬剤部	Drug-administering persons' exposure to oral anticancer drugs administered through a tube	Asian Journal of Pharmaceutical and clinical research, 2016 Sep;3:1-4	Original Article
140	Watanabe M, Hayabuchi Y, Ono A, 他	周産母子センター	Detection of 1p36 deletion by clinical exome-first diagnostic approach.	Hum Genome Var. 2016 May; 12; 3: 16006	Case Report
141	Terada T, Urushihara M, Saijo T, 他	周産母子センター	(Pro)renin and (pro)renin receptor expression during kidney development in neonates.	Eur J Pediatr. 2017 Feb;176(2):183-189	Original Article
142	Watanabe M, Nakagawa R, Kohmoto T, 他	周産母子センター	Exome-first approach identified a novel gloss deletion associated with Lowe syndrome.	Hum Genome Var. 2016 Nov 10;3:16037	Case Report
143	Watanabe M, Nakagawa R, Naruto T, 他	周産母子センター	A novel missense mutation of COL5A2 in a patient with Ehlers-Danlos syndrome.	Hum Genome Var. 2016 Sep 15;3:16030	Case Report
144	Kohmoto T, Shono M, Naruto T, 他	周産母子センター	A novel frameshift mutation of CHD7 in a Japanese patient with CHARGE syndrome.	Hum Genome Var. 2016 Apr 7;3:16004	Case Report
145	D'Antini D, Huhle R, Herrmann J, 他	ER・災害医療診療部	Respiratory System Mechanics During Low Versus High Positive End-Expiratory Pressure in Open Abdominal Surgery: A Substudy of PROVHILO Randomized Controlled Trial.	Anesth Analg	Original Article
146	Obata F, Tani K, Yamaguchi H, 他	総合診療部	Comparison of the efficacy and safety of 10-mg empagliflozin every day versus every other day in Japanese patients with Type 2 Diabetes Mellitus: a pilot trial	The Journal of Medical Investigation, February 2017; 64(1,2): 50-57	Original Article
147	Yang ZH, Bando M, Sakurai T, 他	栄養部	Long-chain monounsaturated fatty acid-rich fish oil attenuates the development of atherosclerosis in mouse models.	Mol Nutr Food Res. 2016 Oct;60(10):2208-2218.	Original Article
148	Shimabukuro M, Sato H, Izaki H, 他	栄養部	Depot- and gender-specific expression of NLRP3 inflammasome and toll-like receptors in adipose tissue of cancer patients.	Biofactors. 2016 Jul 8;42(4):397-406	Original Article

149	Nishimoto S, Fukuda D, Higashikuni Y, 他	栄養部	Obesity-induced DNA released from adipocytes stimulates chronic adipose tissue inflammation and insulin resistance.	Sci Adv. 2016 Mar 25;2(3):e1501332.	Original Article
150	Miyatake Y, Shiuchi T, Mawatari K, 他	栄養部	Intracerebroventricular injection of ghrelin decreases wheel running activity in rats.	Peptides. 2017 Jan;87:12-19.	Original Article
151	Nakaya Y, Fukuda D, Oyamada T, 他	栄養部	A novel lipoprotein (a) lowering drug, D-47, decreases neointima thickening after vascular injury.	J Med Invest. 2017;64(1.2):64-67.	Original Article
152	Takashima A, Fukuda D, Tanaka K, 他	栄養部	Combination of n-3 polyunsaturated fatty acids reduces atherogenesis in apolipoprotein E-deficient mice by inhibiting macrophage activation.	Atherosclerosis. 2016 Nov;254:142-150.	Original Article
153	Tatano H, Yamanaka-Okumura H, Zhou B, 他	栄養部	Association of habitual high-fat intake and desire for protein and sweet food.	J Med Invest. 2016;63(3-4):241-7.	Original Article
154	Abuduli M, Ohminami H, Otani T, 他	栄養部	Effects of dietary phosphate on glucose and lipid metabolism.	Am J Physiol Endocrinol Metab. 2016 Apr 1;310(7):E526-38.	Original Article
155	Risa Nishisaka, Kazuaki Mawatari, Akari Tsunedomi, 他	栄養部	Irradiation of ultraviolet A light emitting diode (UVA-LED) suppresses cell growth and induces oxidative stress in Chlorella sp. MK201.	The Journal of Solid-state Lighting and Life Innovation. 2017 Mar;4:13-20	Original Article
156	Mutsumi Nakahashi, Lian Xin, Akari Tsunedomi, 他	栄養部	Synergistic sterilization effect on cabbage by simultaneous treatment of UVA-LED and sodium hypochlorite with effective residual chlorine degradation	The Journal of Solid-state Lighting and Life Innovation. 2017 Mar;4:8-12	Original Article
157	Sakai A, Hamada H, Hara K, 他	栄養部	Nutritional counseling regulates interdialytic weight gain and blood pressure in outpatients receiving maintenance hemodialysis	J Med Invest. 2017 Feb;64(1.2):129-135.	Original Article
158	Ikeda H, Souda H, Puspitasari A, 他	栄養部	Development and performance evaluation of a three-dimensional clinostat synchronized heavy-ion irradiation system	Life Sci Space Res. 2017 Feb;12:51-60.	Original Article
159	Ju H, Kim T, Chung CM, 他	栄養部	Metabolic suppression by 3-iodothyronamine induced muscle cell atrophy via activation of FoxO-proteasome signaling and downregulation of Akt1-S6K signaling	Biol Pharm Bull. 2017 May 1;40(5):576-582.	Original Article
160	Takeya M, Okumura Y, Nikawa T	栄養部	Modulation of cutaneous extracellular collagen contraction by phosphorylation status of p130Cas	J Physiol Sci. 2017 Sep;67(5):613-622.	Original Article
161	Mukai R, Horikawa H, Lin PY, 他	栄養部	8-Prenylaringenin promotes recovery from immobilization-induced disuse muscle atrophy through activation of the Akt phosphorylation pathway in mice	Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol. 2016 Dec 1;311(6):R1022-R1031.	Original Article
162	Hirasaka K, Saito S, Yamaguchi S, 他	栄養部	Dietary Supplementation with Isoflavones Prevents Muscle Wasting in Tumor-Bearing Mice	J Nutr Sci Vitaminol. 2016;62(3):178-84.	Original Article
163	Mukai R, Matsui N, Fujikura Y, 他	栄養部	Preventive effect of dietary quercetin on disuse muscle atrophy by targeting mitochondria in denervated mice.	J Nutr Biochem. 2016 May;31:67-76.	Original Article

小計15件

164	Abe T, Hirasaka K, Kohno S,他	栄養部	Cepric Acid Up-Regulates UCP3 Expression without PDK4 Induction in Mouse C2C12 Myotubes.	J Nutr Sci Vitaminol. 2016;62(1):32-9.	Original Article
165	Hirasaka K, Mills EM, Haruna M,他	栄養部	UCP3 is associated with Hax-1 in mitochondria in the presence of calcium ion.	Biochem Biophys Res Commun. 2016 Mar 25;472(1):108-13.	Original Article
166	Ohno A, Ochi A, Maita N, 他	栄養部	Structural analysis of the TKB domain of ubiquitin ligase Cbl-b complexed with its small inhibitory peptide, Cblin.	Arch Biochem Biophys. 2016 Mar 15;594:1-7.	Original Article
167	Takagi M, Uchida T, Takatsu E,他	栄養部	Distinct effects of dietary whey peptide and soy protein on denervation-mediated muscle atrophy.	J Nutr Food Sci. 2017 Jan;1(1):1-6	Original Article
168	Takeuchi-Hatanaka K, Yasuda T, Naruishi K, 他	歯周病科	Effects of new over-the-counter periodontal ointment-containing applicator with single-tuft brush on cytokine levels in gingival crevicular fluid during supportive periodontal therapy phase: a randomized double-blind clinical trial.	J Periodontal Res. 51(3):321-331, 2016.	Original Article
169	Ito H, Numabe Y, Hashimoto S, 他	歯周病科	Correlation Between Gingival Crevicular Fluid Hemoglobin Content and Periodontal Clinical Parameters.	J Periodontol. 87(11):1314-1319, 2016.	Original Article
170	Teramachi J, Inagaki Y, Shinohara H, 他	歯周病科	PKR regulates LPS-induced osteoclast formation and bone destruction in vitro and in vivo.	Oral Dis. 23(2):181-188, 2017.	Original Article
171	Kitamura M, Akamatsu M, Kawanami M,他	歯周病科	Randomized Placebo-Controlled and Controlled Non-Inferiority Phase III Trials Comparing Trafermin, a Recombinant Human Fibroblast Growth Factor 2, and Enamel Matrix Derivative in Periodontal Regeneration in Intra-bony Defects.	J Bone Miner Res. 31(4):806-814, 2016.	Original Article
172	Prananingrum W, Tomotake Y, Naito Y, 他	そしやく科	Application of porous titanium in prosthesis production using a moldless process: Evaluation of physical and mechanical properties with various particle sizes, shapes, and mixing ratios.	J Mech Behav Biomed Mater. 2016 Aug;61:581-589	Original Article
173	Kurahashi K, Matsuda T, Goto T, 他	そしやく科	Duplication of complete dentures using general-purpose handheld optical scanner and 3-dimensional printer: Introduction and clinical considerations.	J Prosthodont Res.2017 Jan;61(1):81-86	Original Article
174	Tamaki K, Ishigaki S, Ogawa T, 他	かみあわせ補綴科	Japan Prosthodontic Society position paper on "occlusal discomfort syndrome".	Journal of Prosthodontic Research, 2016 Jul; 60(3): 156-66	Review
175	Kawano T, Eguchi S, Iwata H,他	歯科麻酔科	Effects and underlying mechanisms of endotoxemia on post-incisional pain in rats	Life Sciences, 2016 February; 148:145-53	Original Article
176	Kawano T, Eguchi S, Iwata H, 他	歯科麻酔科	Pregabalin can prevent, but not treat, cognitive dysfunction following abdominal surgery in aged rat	Life Sciences, 2016 February 148:211-219	Original Article
177	Kawano T, Iwata H, Aoyama B, 他	歯科麻酔科	The role of hippocampal insulin signaling on postoperative cognitive dysfunction in an aged rat model of abdominal surgery	Life Sciences, 2016 August; 162:87-94	Original Article
178	Barrientos E, Pelayo F, Tanaka E, 他	矯正歯科	Dynamic and stress relaxation properties of the whole porcine temporomandibular joint disc under compression.	Journal of the Mechanical Behavior of Biomedical Materials 57(1):109-115, April.	Original Article

179	Commisso MS, Calvo-Gallego JL, Mayo J, 他	矯正歯科	Quasi-linear viscoelastic model of the articular disc of the temporomandibular joint.	Experimental Mechanics 56(7): 1169-1177, July.	Original Article
180	Nakayama Y, Matsui S, Noda K, 他	矯正歯科	Amelotin Gene Expression is Temporarily being Upregulated at the Initiation of Apoptosis Induced by TGFbeta1 in Mouse Gingival Epithelial Cells.	Apoptosis 21(10):1057-1070, Oct.	Original Article
181	Masaaki Ikeda, Yoshitaka Yoshimura, Takashi Kikuri, 他	小児歯科	Release from optimal compressive force suppresses osteoclast differentiation	Molecular Medicine Reports, 2016 Nov; 14, 4699-4705	Original Article
182	Nan Ma, Di Yang, Hirohiko Okamura, 他	小児歯科	Involvement of interleukin-23 induced by Porphyromonas endodontalis lipopolysaccharide in osteoclastogenesis	Molecular Medicine Reports 2017 Feb; 15: 559-566	Original Article
183	Arai Chieko, Yoshizaki Keigo, Miyazaki Kanako, 他	小児歯科	Nephronectin plays critical roles in Sox2 expression and proliferation in dental epithelial stem cells via EGF-like repeat domains	Scientific Reports 2017 Mar (オンライン)	Original Article
184	Takayuki Terykina, Yoshihito Naito, Tatsuaki Tagami, 他	口腔インプラントセンター	The effect of the release behavior of simvastatin from different PLGA particles on bone regeneration in vivo: Comparison of simvastatin-loaded PLGA microspheres and nanospheres.	Journal of Drug Delivery Science and Technology 2016 June 33: 136-142	Original Article
185	Johansson P, Jimbo R, Naito Y, 他	口腔インプラントセンター	Polyether ether ketone implants achieve increased bone fusion when coated with nano-sized hydroxypatite: A histomorphometric study in rabbit bone	Int J Nanomedicine. 2016 Apr 6;11:1435-42	Original Article

計185件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 1. 委員会規則（組織、申請手続き、審議、有害事象、実施状況報告、終了報告など会議等委員会運営に必要な事項）、2. 臨床研究実施に係る標準業務について、3. 臨床研究に関連する重篤な有害事象対応について、4. 研究者主導臨床研究におけるモニタリング又は監査の受入れについて 5. 他の研究機関への既存試料・情報提供について	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 利益相反管理規程（管理の概要、手続き及び方法、勧告及び監査）	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 7 回
・ 研修の主な内容 臨床試験管理センターが主催する臨床試験研修セミナー（臨床研究実施の基準と現状、日本における倫理指針と倫理性担保、倫理委員会申請手続き、CRC活動と臨床研究支援、研究倫理、先進医療、医学研究における統計解析、モニタリング・監査）	

(注) 前年度の実績を記載すること。

## (様式第4)

## 高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

## 1 研修の内容

希望する診療領域に応じて卒後3～6年を目処に基本領域の専門医を取得した後、高度先進医療・先端医療を担うべくサブスペシャリティ領域の専門医取得を目指す。また、本人の希望により、並行して社会人大学院に在籍して医学博士号の取得や、臨床技術研鑽及び研究のための他施設（国内外）での研修も可能である。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

## 2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 285人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

## 3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
梶 龍児	内科	教授	38年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
佐田政隆	内科	教授	29年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
西岡安彦	内科	教授	29年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
高山哲治	内科	教授	31年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
土井俊夫	内科	教授	39年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
安倍正博	内科	教授	33年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
佐田政隆	循環器内科	教授	29年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
梶 龍児	神経内科	教授	39年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
高山哲治	消化器内科	教授	31年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
土井俊夫	腎臓内科	教授	39年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
遠藤逸朗	内分泌・代謝内科	准教授	25年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
安倍正博	血液内科	教授	33年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
西岡安彦	呼吸器・膠原病内科	教授	29年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
北川哲也	外科	教授	37年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
丹黒 章	外科	教授	36年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
島田光生	外科	教授	33年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
島田光生	消化器・移植外科	教授	33年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
滝沢宏光	呼吸器外科	准教授	21年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
丹黒 章	食道・乳腺甲状腺外科	教授	36年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
石橋広樹	小児外科	病院教授	28年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
北川哲也	心臓血管外科	教授	37年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
金山博臣	泌尿器科	教授	35年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
西良浩一	整形外科	教授	29年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
永廣信治	脳神経外科	病院長	41年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
久保宜明	皮膚科	教授	30年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
三田村佳典	眼科	教授	30年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
武田憲昭	耳鼻咽喉科	教授	36年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
原田雅史	放射線科	教授	31年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者
苛原 稔	産婦人科	教授	38年	診療科長・ﾌﾞﾗﾝｸﾞ ｻﾞﾏ責任者



大森哲郎	精神科	教授	36年	診療科長・プログラム責任者
香美祥二	小児科	教授	37年	診療科長・プログラム責任者
田中克哉	麻酔科	教授	27年	診療科長・プログラム責任者
橋本一郎	形成外科	教授	29年	診療科長・プログラム責任者
西村匡司	救急科	教授	36年	診療部長・プログラム責任者
上原久典	病理診断科	教授	27年	診療部長・プログラム責任者
谷 憲治	総合診療部	教授	35年	診療部長・プログラム責任者
加藤真介	リハビリテーション科	教授	33年	診療部長・プログラム責任者

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

「医療技術部門キャリア形成支援研修会」

医療技術職員対象で、日頃の業務に役立ち、キャリアアップにつながる研修を実施している。

・研修の期間・実施回数 4月～3月・12回

・研修の参加人数 238人

・研修の主な内容

「栄養セミナー」

栄養管理に必要な栄養評価、経腸栄養、点滴などについて学ぶ。

本セミナーに全回出席し、さらに病棟実習及び症例報告の提出（3例）行った場合は、NST加算のためのメンバー要件である「栄養管理に関わる所定の研修を修了した者」として修了証明書が発行される。

・研修の期間・実施回数 6月～11月

・研修の参加人数 232人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、歯科技工士、歯科衛生士等の免許を有する者を徳島大学病院の当該部署において研修させる。

・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

(看護師) 7月～1月・27日・8名

(臨床検査技師) 4月～3月・通年・20名

(診療放射線技師) 10月～3月・20日・1名

(歯科栄養士) 4月～3月・12日・3名

(管理栄養士) 11月～12月・4日・2名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

<p>① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況 (任意)</p> <p>・研修の主な内容</p> <p>1) 院内認定コース (院内) (資料①-1)</p> <p>徳島大学病院の看護部では、特定の専門領域において、3年以上の実務経験のある医療者を対象とした質の高い医療人を育成するために、院内認定コースを12コース (資料参照) 開講している。規定の出席・試験・レポート評価が合格基準を満たしていれば、徳島大学病院長から修了証及びバッジが授与される。</p> <p>院内認定取得後は各コースの専門性を生かした質の高いケアを、他職種とともにチームで患者に実践している。</p> <p>2) 院内認定コース：フォローアップ研修 (資料①-2)</p> <p>院内認定取得者のためのフォローアップ研修を年に1回以上実施している。</p> <p>・研修の期間・実施回数・受講人数 添付資料参照</p>
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況 (任意)</p> <p>・研修の主な内容</p> <p>1) 教育担当者研修 (資料②-1)</p> <p>新人及び若手看護師への教育指導を効果的・効率的に実施するため、教育担当者育成プログラムを開発し、徳島大学医学部保健学科と連携して教育担当者の育成を実施している。</p> <p>2) 退院支援看護師育成コース (資料②-2)</p> <p>入院時から、退院後の地域での暮らしを見据えた退院支援ができ、きめ細やかな継続ケアの実現を図ることのできる看護師の育成を実施している。</p> <p>・研修の期間・実施回数・受講人数 添付資料参照</p>
<p>③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況</p> <p>・研修の主な内容</p> <p>1) 院内認定コース (外部公開) (資料③-1、2)</p> <p>院内認定コース9コースの研修コースプログラムおよびコースの一部の講義を地域に公開することで、地域の質の高い医療の推進に貢献している。</p> <p>・研修の期間・実施回数・受講人数 添付資料参照</p>

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

《添付資料》

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況

1) 院内認定コース（院内）（資料①-1）

院内認定コース名	研修期間	実施回数（講義/演習）		受講者 （人）
		（回）	（合計時間）	
エキスパート助産師育成	平成28年6月17日 ～平成29年3月	38	600	2
緩和ケア		28	89	2
がん化学療法		25	97	2
褥瘡看護		24	39.5	5
糖尿病		36	56	2
リスク管理		22	31	5
脳卒中リハビリテーション		25	72	1
感染管理		32	52.5	4
臨床研究コーディネーター		25	31	3
集中ケア		32	83	4
摂食・嚥下障害		29	44.5	4
新生児集中		35	79.5	3
計			351	1275

2) 院内認定コース：フォローアップ研修（資料①-2）

院内認定コース名	研修期間	実施回数（講義/演習）		受講者 （人）
		（回）	（合計時間）	
エキスパート助産師育成	平成28年9月9日～ 平成29年1月	2	3.5	10
緩和ケア		3	3.5	6
がん化学療法		2	3	4
褥瘡看護		2	3	15
糖尿病		3	3	11
リスク管理		2	4	4
脳卒中リハビリテーション		2	3.5	6
感染管理		2	3	12
臨床研究コーディネーター		2	4	6
集中ケア		2	3	6
計			22	33.5

②平成27年度：業務の管理に関する研修の実施状況

1) 教育担当者研修（資料②-1）

コース名	研修期間	実施回数（講義・演習・実習含）		受講者 （人）
		（回）	（合計時間）	
教育担当者研修	平成28年3月～平成29年3月	30	480	5

2) 退院支援看護師育成研修 (資料②-2)

コース名	研修期間	実施回数 (講義・演習・実習含)		受講者 (人)
		(回)	(合計時間)	
退院支援看護師育成研修	平成28年6月～平成29年1月	30	50	5

③平成27年度：他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

1) 院内認定コース (外部公開 講義のみ) (資料③-1)

院内認定コース名	研修期間	実施回数 (講義)		外部受講者 (延べ人数)
		(回)	(合計時間)	
エクスパート助産師育成	平成28年6月17日 ～平成29年3月	38	600	105
緩和ケア		28	89	79
がん化学療法		25	97	77
褥瘡看護		24	39.5	101
糖尿病		36	56	37
リスク管理		22	31	69
脳卒中リハビリテーション		25	72	204
感染管理		32	52.5	131
集中ケア		32	83	30
計		262	1120	833

2) 院内認定コース (外部公開 コース全体) (資料③-2)

院内認定コース名	研修期間	実施回数 (講義/演習)		受講者 (人)
		(回)	(合計時間)	
エクスパート助産師育成	平成28年6月17日 ～平成29年3月	38	600	1
褥瘡看護		24	39.5	1
感染管理		32	52.5	2
計		94	692	4

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	① 計画	② 現状
管理責任者氏名	病院長 永廣 信治	
管理担当者氏名	総務課長 井内 伸 経理調達課長 川野 茂 医事課長 槌谷 和也 薬剤部長 石澤 啓介 看護部長 高開 登茂子 診療支援部長 清水 裕次 病院情報センター長 島田 光生 手術部長 島田 光生 放射線部長 原田 雅史 ME管理センター長 北川 哲也	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	文書ファイルまたは電子媒体で保管 ※診療録の病院外持ち出しは認めていない。
		各科診療日誌	各診療科(部)	
		処方せん	病院情報システム	
		手術記録	病院情報システム	
		看護記録	病院情報システム	
		検査所見記録	病院情報システム	
		エックス線写真	病院情報システム	
		紹介状	病院情報システム	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	病院情報システム	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	文書ファイルで保管
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課 経理調達課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	文書ファイルで保管
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医事課	文書ファイルで保管
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	ME管理センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME管理センター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME管理センター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME管理センター	



		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医事課	文書ファイルで保管
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医事課	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課	
		医療安全管理部門の設置状況	医事課	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課	
		監査委員会の設置状況	総務課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医事課	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課	
		職員研修の実施状況	医事課	
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課 医事課			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状	
閲覧責任者氏名	事務部長 大城 雅彦		
閲覧担当者氏名	総務課長 井内 伸		
閲覧の求めに応じる場所	総務課		
閲覧の手続の概要			
閲覧請求を申請する者は、事前に担当部署に申請を行う。			

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>徳島大学病院（以下「本院」という。）の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療（最先端医療を含む）を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。</p> <p>特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 用語の定義</li><li>2 安全管理に関する基本的考え方</li><li>3 医療に係る安全管理のための取組に関する基本的事項</li><li>4 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針</li><li>5 医療上の事故等の報告に関する基本方針</li><li>6 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針</li><li>7 患者等からの相談へ及び苦情等への対応に関する基本方針</li><li>8 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li><li>9 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ol>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有・無）</p> <p>・ 開催状況：年 13 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>リスクマネジメント委員会（毎月原則1回）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 医療上の事故等防止のための安全管理の方策に関すること。</li><li>2 医療上の事故等発生時の対応に関すること。</li><li>3 医薬品の安全使用に関すること。</li><li>4 医療機器の安全使用に関すること。</li><li>5 その他医療上の事故等に関すること。</li></ol>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成28年度 徳島医療安全セミナー「当院におけるせん妄対策の現状・精神科医のリエゾンについて」</p> <p>「当院における入院患者転倒の現状」</p> <p>第1回安全管理研修会「医療安全における医薬品情報の重要性」</p> <p>第2回安全管理研修会「内視鏡検査・治療における安全管理」</p> <p>第3回安全管理研修会「放射線診断科領域の安全管理」</p> <p>第4回安全管理研修会「当院における医療安全について」</p>	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (  有 ・  無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

事故報告等の報告に関しては、「徳島大学病院インシデント等発生時の報告に関する取扱要項」を定め、「インシデント報告システム」により報告される。報告されたインシデントは、リスクマネージャーからの報告や安全管理部リスクマネジメント部門員による現場確認及び当事者等の事情聴取により確認され、安全管理部リスクマネジメント部門会議(分析)において、インシデント報告書に基づき改善策を検討する。次に、リスクマネジメント部門会議(分析)での改善策をリスクマネジメント部門会議(全体)で検討する。さらに、これらの改善策をリスクマネジメント委員会で審議した上、リスクマネージャー連絡会でフィードバックする。

次のステップとして、実施された改善策のうち、実施状況を把握する必要があると認められるインシデントについては、リスクマネジメント部門会議(評価)で評価し、改善策を検討する。上記と同様に、リスクマネジメント部門会議(評価)での改善策をリスクマネジメント部門会議(全体)で検討する。次に、これらの実施された改善策をリスクマネジメント委員会で審議した上、リスクマネージャー連絡会で再度フィードバックする。さらに、実施状況を把握する必要があると認められるインシデントについては、リスクマネジメント部門会議(評価)からリスクマネージャー連絡会でのフィードバックを繰り返し行う。(PDCA手法を取り入れている。)

分析方法については、インシデント報告された報告事例(ひと月約250件程度)を職種の違う担当者が分担して1件1件内容を確認し、インシデントへの意見等を出し合う。その中で、インシデントが警鐘的な事例や、インシデントが他部署にわたる事例など、また、全国的に頻発している事例などを選び、2~3事例、SHELL分析にて毎月分析をしている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>徳島大学病院(以下「本院」という。)の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療(最先端医療を含む)を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。</p> <p>特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 用語の定義</li><li>2 安全管理に関する基本的考え方</li><li>3 医療に係る安全管理のための取組に関する基本的事項</li><li>4 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針</li><li>5 医療上の事故等の報告に関する基本方針</li><li>6 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針</li><li>7 患者等からの相談へ及び苦情等への対応に関する基本方針</li><li>8 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li><li>9 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 13 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>感染対策委員会(毎月1回, 臨時1回)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 院内感染の予防及び対策に関すること。</li><li>2 院内感染防止の実施, 監視及び指導に関すること。</li><li>3 院内感染発生時の措置に関すること。</li><li>4 職員の院内感染の教育に関すること。</li><li>5 感染制御部の運営に関すること。</li><li>6 その他院内感染に関すること。</li></ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成28年度</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 第1回感染対策研修会 「インフルエンザと結核の注意すべき感染対策」</li><li>② 第2回感染対策研修会 「流行性ウイルス(水痘・風疹・流行性耳下腺炎等)感染症とその対策」 「抗菌薬の届出制と適正使用について」</li><li>③ 第3回感染対策研修会 「標準予防策と針刺し防止対策について～昨年度の課題から～」 「本院におけるインフルエンザ感染対策について」</li></ol>	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

- 1 毎週1回、ICTラウンドを計画的に実施、改善点を部署にフィードバックし、更にICNラウンドで確認している。
- 2 抗MRSA薬、カルバペネム系抗菌薬について、届出制を実施しているが、抗MRSAについてはTDMの実施状況と抗MRSAの適正使用について毎月検討している。
- 3 HIVチームカンファレンスを実施し、2ヶ月に1回開催しているHIV/エイズ小委員会で院内のHIV症例の事例検討や検査結果の報告をしている。
- 4 職業感染対策として、全職員の抗体の有無を把握している。針刺し等防止対策としては、曝露者の面接をすべての事例で行い、改善策をフィードバックしている。
- 5 ICUでのBSIサーベイランス、消化器外科・小児対象の心臓血管外科でのSSIサーベイランスを実施している。
- 6 教育体制として、①感染対策研修会、②部署別出張研修、③研修医研修、④看護師研修(新人、2年目、専門)、⑤感染管理院内認定コース、⑥育休復帰者研修に分けて計画している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る  
措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容： 「医薬品の安全管理」 「処方時の注意点と薬剤業務」 「注意すべき薬剤について」 「インシデント事例から学ぶ医薬品の取り扱い」 「麻薬・毒薬・向精神薬の管理について」 「医薬品の適応外使用等に関する取り決めについて」 「医薬品情報の重要性について」	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容：  各種薬剤業務，病棟における医薬品管理が適正に行われているかを 病棟間相互チェック等の際に調査し，不備な点を指摘し改善している。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容：  全病棟に薬剤師を配置し，持参薬を含め，病棟における医薬品の管理体制を整備した。 薬剤管理指導業務により得られた副作用情報を毎週薬局会で薬剤部員に伝えている。 医薬品適応外使用する場合の院内規定を設けるとともに，適応外使用に関する情報を収集し医薬品安全管理責任者への報告体制および診療科への指導体制を整備した。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 17 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1. 新しい医療機器の導入時の研修について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 使用した経験のない新しい医療機器を導入する際には、当該医療機器を使用する予定の医療従事者に対する研修会を実施し、その記録を保存している。</li><li>・ 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月までに、新しい医療機器を導入する際に開催した研修会は、医療機器（臨床検査機器、放射線機器含む）6 機種に対し、計 6 回実施した。</li></ul> <p>2 特定機能病院における医療機器研修について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 特定機能病院として、特に安全使用に際しての技術の習熟が必要と考えられる医療機器については、研修会を実施し、その記録を保存している。</li><li>・ 平成 28 年度新採用者オリエンテーション（対象：医師、看護師）にて、医療機器の研修会として、輸液ポンプ・シリンジポンプについて実施した。研修内容は、正しい操作方法を身に付け、インシデントを予防するためのポイントを学ぶことを目的に実技研修も取り入れ、2 回実施した。</li><li>・ 平成 27 年度から各病棟（東病棟、西病棟）、外来などの各部署から個別依頼された医療機器の研修会は不定期（要望依頼時）に実施することにより、平成 26 年度まで実施していた定期研修会より従事者の参加人数が増加している。平成 28 年度に実施した医療機器は人工呼吸器（ネーザルハイフロー等含む）、除細動装置、血液透析装置等で、計 9 回（参加人数：87 名）実施した。医療機器の研修会については、臨床工学技士または医療機器製造販売メーカー担当者が医療機器の正しい操作方法、またはトラブルシューティングなどについて説明している。</li></ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機器製造販売メーカーの指定期間（使用年数または使用時間）により、予防メンテナンスや機器のオーバーホールをメーカーへ依頼し、実施している。</li></ul>	



④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集  
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (  有  無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
  - ・ 医療機器の添付文書及び医薬品・医療機器総合機構（PMDA）の医療機器安全性情報サービスに登録し、情報を収集している。また、直接、医療機器製造販売メーカーから不具合情報や安全情報を得ている。収集した医療機器に関連した不具合情報や安全情報は、情報の性質や内容により異なるが、使用者（医療従事者）や内容が特定の部署に限定される場合には個別に必要部署のみに周知し、多くのスタッフが知る必要がある場合には、安全管理部等を通じて院内周知している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格(医師・歯科医師) ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>平成 28 年 9 月に「徳島大学病院における医療に関する安全管理規則」の改正を行い、平成 28 年 10 月 1 日から医療安全管理責任者を配置し、医療安全管理担当の副院長をもって充てている。 また、同規則にて、医療安全管理責任者が安全管理部、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括する規定を定めている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有( 7 名)・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>緊急安全性情報・安全性速報等の医薬品情報を収集、整理し医療スタッフへ提供および周知状況を確認する体制を整備した。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>薬剤部内に医薬品の安全管理を担う担当者(薬剤部安全管理担当者)を定めるとともに、未承認等の医薬品の使用の情報等の収集及び指導等を行う体制を整備した。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有・無)</p> <p>・担当者の所属・職種： (所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 )</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： 平成 28 年 9 月に「徳島大学病院における医療に関する安全管理規則」の改正を行い、平成 28 年 10 月 1 日からインフォームドコンセント責任者を置き、インフォームドコンセントガイドラインの管理 ・周知徹底、適切な実施及び指導等の業務を行う規定を定めた。</p> <p>インフォームドコンセントガイドラインの主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 目的</li><li>2 対象</li><li>3 説明して同意を得る手順</li></ol>	

- ・誰が説明し、誰が立ち会うのか
- ・どこで行うのか
- ・記録と保管
- ・説明と同意
- ・説明の内容
- ・セカンドオピニオンについて
- ・代理人が必要な場合の説明と同意
- ・緊急時の対応

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有・無

- ・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療録等の管理に関する責任者の選任にあたっては、徳島大学病院診療録管理規則により、本院の医療支援センター長を診療録管理責任者として充てている。

診療録管理責任者は、診療録の記載内容を確認し、診療録の適切な管理を行うものとしている。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有・無

- ・所属職員：専従（2）名、専任（3）名、兼任（2）名
- うち医師：専従（ ）名、専任（2）名、兼任（2）名
- うち薬剤師：専従（ ）名、専任（1）名、兼任（ ）名
- うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

- ・活動の主な内容：

- (1) 本院において発生した医療上の事故等の原因究明、調査、分析及び対策の検討並びに当該医療上の事故等の再発防止に関する事。
- (2) 事故等に関する診療録及び看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び指導に関する事。
- (3) 患者及び家族への説明等事故発生時の対応状況についての確認及び指導に関する事。
- (4) 医療上の事故等の防止に関する教育及び研修の企画及び実施に関する事。
- (5) 医療上の事故等の防止に関する情報の収集及び提供に関する事。
- (6) 医療上の事故防止安全対策マニュアルの改訂に関する事。
- (7) インシデント報告の管理に関する事。
- (8) リスクマネジメント委員会で用いられる資料及び議事要録の作成及び保存、その他リスクマネジメント委員会の庶務に関する事。
- (9) 医療安全に係る連絡調整に関する事。

- (10) 医薬品の安全使用に係る連絡調整に関すること。
- (11) 医療機器の安全使用に係る連絡調整に関すること。
- (12) その他医療上の事故防止及び医療の安全性の向上に関すること。

リスクマネジメント委員会にて審議された医療安全に資する診療内容について、リスクマネジメント評価委員会にて従事者の認識確認を常時行っている。（平成28年度はダブルチェック体制や弾性ストッキングの着用方法など。）

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。  
 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：
  - (1) 高難度新規医療技術又は未承認新規医療機器を用いた医療の提供についての審査に関すること。
  - (2) 高難度新規医療技術又は未承認新規医療機器を用いた医療実施後の症例報告の検証に関すること。
  - (3) その他高難度新規医療技術又は未承認新規医療機器に関すること。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：
  - (1) 未承認新規医薬品を用いた医療の提供についての審査に関すること。
  - (2) 未承認新規医薬品を用いた医療の提供後の報告に関すること。
  - (3) その他未承認新規医薬品に関すること。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (  有 · 無 )

⑨ 監査委員会の設置状況

有 · 無

・監査委員会の開催状況：年2回

・活動の主な内容：

次の事項を審議する。

- 1 病院の医療安全に係る業務遂行の状況に対する監査に関すること。
- 2 安全管理状況及び改善状況に関すること。

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (  有 · 無 )

・委員名簿の公表の有無 (  有 · 無 )

・委員の選定理由の公表の有無 (  有 · 無 )

・公表の方法：

徳島大学・徳島大学病院のホームページにて公表

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
三宅 秀則	徳島市民病院・ 病院長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有するため	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
白川 剛	白川剛法律事務所・弁護士		法律に関する識見を有するため	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
森田 敏子	徳島文理大学 保健福祉学部 ・教授		医療安全管理についての知識を有し、医療等の内容及び説明並びに同意文書が一般的に理解できる内容であるか等、医療を受ける者の立場から意見を述べることができる者(学識経験を有する者)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 226 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 48 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
  - (1) 医療上の事故等防止のための安全管理の方策に関すること。
  - (2) 医療上の事故等発生時の対応に関すること。
  - (3) 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品及び未承認新規医療機器を用いた医療の提供に関すること。
  - (4) 医薬品及び医療機器の安全使用に関すること。
  - (5) その他医療上の事故等に関すること。

⑪ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名： ） 無
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名： ） 無
- ・技術的助言の実施状況

H28年度は未実施。

(H29.10に防衛医科大学校病院からの立入り受入れ、H29.11に筑波大学附属病院への立入り予定)

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

院内の患者相談は全て患者支援センターを窓口としており、患者から分かりやすい場所に立地している。当該センターで受け付けた安全管理に係る相談は、その内容に応じて、医療安全管理部門など適切な専門の担当部署に振り分け、患者支援センターの相談員と協働して相談に対応する。また、患者相談の内容と対応状況は、患者支援センター内の会議（実務者会議）で報告され、当該センターが至急又は重大と判断する相談内容は、病院長に直接報告を行う。

<p>⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> </ul>
<p>⑭ 職員研修の実施状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の実施状況</li> </ul> <p>現在行われている医療に係る安全管理及び医薬品等の安全使用のための研修において、必ず実施すべき研修項目を追加する。また、小テストや e-learning を活用したテスト等により、学習効果測定を実施する。</p>
<p>⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の実施状況</li> </ul> <p>毎年安全管理研修会を院内において実施し、管理者をはじめ、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全責任者が必ず毎年受講している。</p>

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>●ISO9001 一般社団法人 日本能率協会審査登録センター 登録改訂日：平成29年2月7日</p> <p>●ISO15189 公益財団法人 日本適合性認定協会 登録改訂日：平成28年11月22日</p> <p>●プライバシーマーク 一般財団法人 医療情報システム開発センター 審査合格（更新）日：平成28年6月28日</p>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>1) 病院ホームページへの掲載</p> <p>2) 広報誌：①病院概要 ②徳大病院だより“いきいきらいふ”）年4回発行（5000部×4回）</p> <p>3) 市民公開講座（徳島大学病院フォーラム）年1回開催</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>・がん診療連携センター</p> <p>都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受け、複数の診療科と県内3ヶ所の地域がん診療連携拠点病院および他の様々な医療機関と連携して、県内のがんの診断・治療の向上のみならず、が</p>	



ん医療の相談支援、情報提供、地域連携および均てん化を図る中心的な役割を果たしている。

本センターは、がん研究・研修部門、がん登録部門、がん診療連携・相談部門、がん診療企画部門、がん化学療法部門、がん緩和・こころのケア部門の6つの部門から構成されている。医師、看護師、薬剤師、技師、心理士、事務職員がそれぞれ高い志の下に連携し、最新の診断・治療機器や高度な治療技術を駆使した横断的な医療の実践のみならず、看護、研究、啓発、情報発信、人材育成まで含めた幅広い分野でがんと闘う組織を整備している。

・医科と歯科の連携

医科入院患者およびICU患者、手術・放射線・化学療法前患者に対して口腔管理センター・口腔内科が窓口となって口腔ケアを実施している。さらに特定の診療科（精神科神経科、心臓血管外科、消化器・移植外科）に特化した口腔ケア体制を構築している。

・耳鼻科と歯科の連携

摂食・嚥下リハビリテーションを必要とする入院患者に対して、リハビリテーション部医師、耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師、歯科医師、言語聴覚士が連携し、カンファレンスを継続して実施している。また、診断の際に必要となるVE（嚥下内視鏡検査）の診断について、耳鼻咽喉科・頭頸部外科と協力して実施している。

・形成外科と矯正歯科の連携

口蓋裂患者及び顎変形症患者のチーム診療を行うため、カンファレンスを定期的を実施し、口蓋裂患者、顎変形症患者の、口腔外科及び矯正歯科と形成外科・美容外科間の診療ネットワークを構築している。

(様式第8)

徳大院総第96号  
平成29年10月3日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人徳島大学  
学長 野地 澄 殿

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

毎年安全管理研修会を院内において実施し、管理者をはじめ、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が必ず毎年受講しており、平成29年度においても受講予定である。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（2）名、専任（3）名、兼任（2）名  
うち医師：専従（ ）名、専任（2）名、兼任（2）名  
うち薬剤師：専従（ ）名、専任（1）名、兼任（ ）名  
うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

専従医師の配置については、現在専任医師2名を配置しており、平成32年3月までに専従医師を配置する予定である。

専従薬剤師の配置については、現在専任薬剤師1名を配置しており、平成30年4月までに専従薬剤師を配置する予定である。

専従看護師の配置については、現在専従薬剤師2名が配置済みである。